

5. シラバス

(1) 基礎分野

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	文学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	水曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	文学作品を通して日本語の表現方法を学び、人間についての洞察力と豊かな人間性を養う。文献の読解力、表現力を高める。				
到達目標	文学を通して日本語表現の基礎的な知識を習得し、論理的な思考力を身につける。レポート作成の方法を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	ガイダンスー文学概説ー			
	2	文学の表現を味わう①ー虚構装置としての『平家物語』を読むー			
	3	文学の表現を味わう②ー交響する『平家物語』の記述を読み解くー			
	4	中世文学史概観：無常のなかの死と救済			
	5	中世文学で描かれる【病】①			
	6	中世文学で描かれる【病】②			
	7	中世文学で描かれる【生と死】①			
	8	中世文学で描かれる【生と死】②			
	9	日本語表現①ー文法事項、話し言葉・書き言葉ー			
	10	日本語表現②ー敬語ー			
	11	日本語表現③ーレポートの書き方概説、文献書籍の検索方法ー			
	12	日本語表現④ーレポート作成の練習ー			
	13	映画が描く【病・死】①ー『エンディングノート』を鑑賞するー			
	14	映画が描く【病・死】②ー『エンディングノート』について考えるー			
15	期末試験				
使用教材	テキスト：『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』 (風間書房、2010年3月) プリント				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験及び課題レポートで評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	教育学				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	金曜日・4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	教育学の基礎的知識を学び、学習場面、指導場面に対応するための基礎的能力を身につける。				
到達目標	学習や指導の基礎的な仕組みを理解し、実際の看護場面と関連づけて考えられるようになる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	イントロダクションーなぜ看護学校で教育学を学ぶのか？ー			
	2	教育原理ー教育とは何か？ー			
	3	発達心理学①ー発達段階にあわせた教育を考えようー			
	4	発達心理学②ー相互行為としての教育を考えようー			
	5	学習理論①ー人間はどのように学習をするのか？ー			
	6	学習理論②ー学習のモチベーションを上げるには？ー			
	7	学習方法①ー効率よく学習するには？ー			
	8	学習方法②ー看護師としての学習方法を考えようー			
	9	教育評価①ー評価の目的や方法を理解しようー			
	10	教育評価②ー評価の効果を高めるには？ー			
	11	指導の基本①ー指導者としての役割と姿勢を理解しようー			
	12	指導の基本②ー効果的な指導方法を考えようー			
	13	看護師としてのキャリア開発			
	14	授業の総まとめ			
15	筆記試験				
使用教材	<p>教科書は指定しないが、下記を参考文献として紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中井俊樹・小林忠資編(2015)『看護のための教育学』医学書院。 ・グレッグ美鈴・池西悦子編(2018)『看護教育学ー看護を学ぶ自分と向き合うー』南江堂。 ・守本もと子編(2015)『看護のための『教育学』』あいり出版。 				
履修上の注意	特になし。				
成績評価の方法	授業への出席・コメントペーパー(30%)、筆記試験の成績(70%)をもとに評価する。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	哲学				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	哲学は、いつの時代もその時代の子であると同時に「永遠の相のもと」に見るといふ使命を抱いてきた。それが、まさに批判的精神を有する哲学固有の在り方でもあった。講義では、哲学史上の重要な論点を紹介しつつ、そこに含まれる人間存在の意味を看護実践に関連づけ考察していく。				
到達目標	(1) 哲学の歴史を学び、哲学的な「問い」の本質を明らかにすることができる。 (2) 哲学の歴史を学び、哲学的な「問い」を自ら引き受けることができる。 (3) 哲学史の内容を看護の問題として理解することができる。 (4) 哲学的諸問題を看護の問題に関連づけ主体的かつ能動的に考えることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	哲学と看護 哲学の始まり			
	2	古代編1 (ソクラテス) 無知の知と魂への配慮			
	3	古代編2 (プラトン) アイデア			
	4	古代編3 (アリストテレス) 四原因論			
	5	近代編1 (近代の始まり-自然科学の発展・ルネサンス・宗教改革)			
	6	近代編2 (大陸の合理論-デカルト) 心身二元論			
	7	現代看護と医療における「心身二元論」の問題			
	8	近代編3 (カントの哲学1) 実践理性の哲学を中心に			
	9	近代編4 (カントの哲学2) 近代の人間観をかえりみる			
	10	現代看護と医療における「人格」概念			
	11	近代編5 (ヘーゲルの哲学) 弁証法			
	12	現代編1 (ニーチェ) ニヒリズムと「超人」			
	13	現代編2 (ハイデガー) 死へと至る存在			
	14	現代看護と医療における「生」と「死」			
	15	哲学と看護-その学びを振り返って 看護実践への道 (テストを含む)			
使用教材	教科書：納富信留/檜垣立哉/柏端達也 編著『よくわかる哲学・思想』ミネルヴァ書房				
履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
成績評価の方法	以下の項目を中心に総合的観点からに評価する。 1 講義時のコメントペーパー[ビデオ学習時] 2 小テスト[授業確認テストを3回] 3 レポート[看護と哲学にかかわるもの]				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	情報科学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	情報処理業務経験有		
目的/概要	基礎的な情報学を学ぶと共に、看護領域への情報技術の適用である病院情報システムや電子カルテのメリット・デメリットについて理解する。 ワープロ、表計算、プレゼンテーションソフトの基礎的用法を習得する。				
到達目標	情報の収集、加工、出力の流れを理解し、医療の中で扱われる情報についての基礎知識を獲得する。 EBN（根拠に基づく看護）実践に必要な情報検索技術や学術文献検索の基礎的能力を身につける。 MS-Word,Excel,PowerPointの基礎的技能を身につける。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	オリエンテーション 情報とデータの違い			
	2	PCの利用法 USBメモリのセキュリティ			
	3	SNSの功罪、情報過多社会、情報（処理）学の看護学への適用			
	4	病院情報システムと電子カルテ、クリティカルパス			
	5	EBN 学術雑誌散見			
	6	情報とは、情報用語解説			
	7	MS-Word基礎（日本語入力・文字装飾・ページレイアウト）			
	8	MS-Word応用（段組・ルビ・表・図形描画・ワードアート）、課題作成			
	9	MS-Excel基礎（セルの概念・書式設定・絶対/相対参照・罫線）			
	10	MS-Excel基礎（関数（SUM, AVE, MAX, MIN, COUNT, IF, STDEV））			
	11	MS-Excel基礎（グラフ・標準偏差Tバー・印刷）			
	12	MS-Excel応用（関数とグラフ）、課題作成			
	13	MS-PowerPoint基礎（プレゼンテーションとは）			
	14	MS-PowerPoint基礎（スライド作成・アニメーション）			
15	MS-PowerPoint応用（作成した課題を班内で発表）				
使用教材	ビジネスOfficeスキルこれだけ！Excel&PowerPoint&Word&Office365頻出ワザ&便利テク2019/2016/2013/2010 ビジネスOfficeこれだけ編集部				
履修上の注意	PC操作に不慣れな者は、意識して頻繁にPCに触れる機会を増やし、出来るだけ早く操作に“慣れる”ように。				
成績評価の方法	講義中に適宜出される提出課題により評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	物理学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日・3.4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	理学療法士として医療機関で従事、医療系専門学校教員		
目的/概要	物理学の基礎を学び、検査・治療・処置の根拠を理解し、看護場面に応用できる。				
到達目標	物理的環境の基礎理論を看護と関連づけて学び、実践の裏付けや看護場面に応用できる能力を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	物理学概論、四則演算及び濃度計算の復習			
	2	日常の身近な物理現象、医療現場への物理的知識の応用例			
	3	力、てこ及び張力、並びに看護ボディメカニクス			
	4	力学を基に小さな力で安全に介助する方法の実技演習			
	5	圧力及び重心、並びに褥瘡と物理学の関係			
	6	圧力及び重心を基に姿勢変換を介助する方法の実技演習			
	7	呼吸及び圧力、並びに呼吸運動と物理学の関係			
	8	サイフォンの原理を基に誤飲を予防する方法の実技演習			
	9	圧力及び音並びに心臓のポンプと物理学の関係			
	10	圧力を基に血圧測定及び起立性低血圧を理解する			
	11	熱及び体温、並びに代謝、放射、発熱及び体温調節の関係			
	12	熱を基に体温調節を意識した入眠を考える			
	13	光、電気及びエネルギー			
	14	物理学総論			
15	筆記試験				
使用教材	教科書：・佐藤和良、看護学生のための物理学 第5版、医学書院				
履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
成績評価の方法	筆記試験 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	英語Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的／概要	中学・高校で学習してきた英語に関する基礎的な知識を確認するとともに、看護英語・医療英語の基礎についても学ぶ。				
到達目標	英語の読解力や文章表現、日常会話の技術を高め、看護英語に関する知識を習得・活用できる能力を養うことができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	授業に関するオリエンテーション、自己紹介			
	2	Unit1 D1 Emergency department			
	3	Unit1 D2 Examination room			
	4	Unit1 D3 Giving injection			
	5	Unit1 D4 Explanation to a family member			
	6	Unit1 Quiz			
	7	Unit1 Quiz 続き 身体の名前および器官の名前			
	8	Unit2 D1 Meeting the patient			
	9	Unit2 D2 Orientation to the Ward			
	10	Unit2 D3 Asking height, weight, and temperature			
	11	Unit2 D4 Obtaining the patient's history			
	12	映画による聞き取り①『プロデューサーズ』			
	13	映画による聞き取り②『プロデューサーズ』			
	14	Unit2 Quiz、診療科名など			
15	復習、筆記試験				
使用教材	教科書：Paul Zito 早坂真佐子著『看護英会話標準テキスト』日総研				
履修上の注意	知識定着のため、毎回小テストを授業内で実施				
成績評価の方法	筆記試験の素点＋平常点（出席状況、授業へ取り組む姿勢および態度など）を総合的に評価 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	英語Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的／概要	看護に必要な日常英会話を学習するとともに、医療に関する専門用語を学ぶ。				
到達目標	看護の現場に必要な英語表現を身に付け、さらには医療英語・看護英語に関する専門用語を習得することができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	Unit3 D1 General care of patients			
	2	Unit3 D2 Blood test explanation（検査名①）			
	3	Unit3 D3 Drawing a blood sample(bloodを使った表現①)			
	4	Unit3 D3 続き(bloodを使った表現②、血管の名称など)			
	5	Unit3 Quiz			
	6	Unit4 D1 Operation orientation			
	7	Unit4 D2 Explaining about the operation :Anesthesia			
	8	Unit4 D3 Taking the patient into surgery Unit4 Quiz			
	9	Unit5 D1 Postoperative care:Observation after operation(1)			
	10	Unit5 D2 Postoperative care:Observation after operation(2)			
	11	映画による聞き取り①『五線譜のラブレター』			
	12	映画による聞き取り②『五線譜のラブレター』			
	13	Unit5 D2 続き			
	14	Unit5 D3 Urinary catheterization(1)			
15	復習、筆記試験				
使用教材	教科書：Paul Zito 早坂真佐子著『看護英会話標準テキスト』日総研				
履修上の注意	知識定着のため、毎回小テストを授業内で実施				
成績評価の方法	筆記試験の素点+平常点（出席状況、授業へ取り組む姿勢および態度など）を総合的に評価 60点以上合格				

科目名	心理学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	人間の心の発達と働きを学び、様々な状況における人間の行動特に看護場面と結びつけて理解できる能力を養う。				
到達目標	人間の心の基礎的な仕組みを知り、身近な現象や看護場面と結びつけて説明できるようになる。				
授業計画	時期	授業内容		準備学習	
	1	心理学とは何か。方法論について		事前準備：「心理学」と聞いてどのようなことをイメージしますか。考えてみてください。（概ね30分）	
	2	感覚・知覚：感覚入力と心の関係			
	3	学習：条件づけ、観察学習		事前準備：テレビや映画、小説や漫画、アニメの登場人物や友人などの行動を注意深く観察してみてください。（概ね30分）	
	4	感情と動機づけ：情動の生起、欲求の階層		事前準備：自分にとって一番必要だと思う感情はどのような感情ですか。考えてみてください。（概ね30分）	
	5	記憶：二貯蔵庫モデル、忘却のメカニズム			
	6	発達①：乳幼児期、児童期の発達の特徴		事前準備：今まで成長・発達していくにあたって、どんな「困難なこと」があったでしょうか。支障のない範囲で考えてみてください。（概ね30分）	
	7	発達②：青年期から老年期までの発達の特徴			
	8	知性と感性：頭の良さとは何か、創造的思考		事前準備：「頭が良い人」とは、どのような人のことをいうと思いますか。考えてみてください。（概ね30分）	
	9	性格：パーソナリティの理論と形成		事前準備：「心理テスト」と聞くと、どんなものを思い浮かべますか。考えてみてください。（概ね30分）	
	10	社会①：対人魅力、うわさ		事前準備：あなたが魅力的だと思う人はどのような人ですか。考えてみてください。（概ね30分）	
	11	社会②：説得、集団心理		復習：本時で学んだことを、自分自身の行動と結びつけながら振り返ってみてください。（概ね30分）	
	12	臨床①：精神的健康と適応/不適応・ストレスとその対処		事前準備：心が健康であるためにはどのようなことが必要だと思いますか。考えてみてください。（概ね30分）	
	13	臨床②：非支持的なカウンセリング		事前準備：自分がどのような場面でストレスを感じるか考えてみてください。（概ね30分）	
	14	臨床③：支持的なカウンセリング		復習：本時で学んだことと、実際の会話の場面と照らし合わせてみて、どう違っているかを振り返ってみてください。	
15	まとめ・筆記試験：身近な現象と心理学				
使用教材	特に指定しない。適宜、配布資料を用意する。				
履修上の注意	授業ごとにフィードバックシートを配布し、そこに書かれた質問・課題に適宜答える形で学生へのフィードバックを行う。 体験課題には意欲的に取り組み、自己や他者への理解を深めてください。				
成績評価の方法	筆記試験 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	社会学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	金曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	社会の構造と機能を学び、人々の社会を社会の動向や変化と結びつけて理解する。				
到達目標	現代社会の構造と機能を学び、健康や勤労、医療との関連を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	イントロダクション「社会学とは何か。」 社会学という学問の基本的な考え方(ものの見方)を学び、看護師として成長していくために、社会学の考え方がどのように役立つかを考えます。キーワードは「近代化」です。			
	2	人間と社会「人間がいかに社会的存在であるか。」 「社会化」や「社会的役割」といった概念を用いて、普段の生活で、何気なく行っている習慣や行動が、いかに社会からの影響を受けているか省察していきます。それと同時に、社会化や社会的役割によるもたらされる「社会的秩序」や「法」、「社会規範」「個人の権利」について考察します。キーワードは「集団」です。			
	3				
	4				
	5	現代社会と家族「これからの家族のかたち」 これまで学んできたキーワードを用いて、近代化以降の家族のあり方の変遷について検討していきます。			
	6				
	7	医療・福祉と社会「これからの医療・福祉のかたち」 医療のあり方は医学の進歩に従って変わっていきます。しかしそれだけではなく、医療に対する政策、人々の考え方が変わりゆくなかでも、その形を変えてきました。現代社会における医療・福祉のあり方を、特に政策や社会通念に着目して考えてみましょう。			
	8				
	9	社会と文化「文化とは何か、どこにあるのか。」 国民国家や地域社会、家庭にはそれぞれの文化があり、それを尊重するべきだと考えられています。しかし、「文化」とは一体何なのでしょう。それは社会とは関係なく、自然に生まれたものなのでしょうか。改めて文化について考えます。			
	10				
	11	情報化社会とネットワーク「メディアは社会をどう変えたか。」 今では当たり前に使われているインターネットですが、その登場によって社会のあり方は大きく変わりました。インターネット登場前と後のメディアや社会のあり方や医療・福祉の情報化について検討していきます。			
	12				
	13	勤労と健康「非正規雇用は、健康に負の影響を与えるのか。」 雇用の多様化が労働者の健康にどのような影響を与えるのかに対して、政府統計データを用いて、雇用形態と健康・労働災害の関係について考察します。			
	14	現代社会の課題(復習) これまで学習した知識をもとにして「現代社会の問題」について考えます。			
15	試験とまとめ 授業で学んだキーワードをしっかりと理解しているかどうか、キーワードを使って現代社会のあり方を考察できるかをテストします。テスト後に試験内容について解説したうえで、授業のまとめを行います。				
使用教材	教科書については、担当教員が作成したプリントを使用します。 参考文献については、授業ごとに指示します。				
履修上の注意	・授業終了10分前に簡単なコメントペーパーを記入してもらう。				
成績評価の方法	試験(筆記)60%。授業への参加度(出席、発言、確認テスト等)40%。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人間関係論				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	演習
曜日・時限	金曜日・3.4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	業務経験有		
目的/概要	コミュニケーションスキルを活用し、実習に活かしていく。				
到達目標	討議法、ゲームなどの演習を通して、コミュニケーションスキルを学ぶ				
授業計画	時期	授業内容			
	1	自己紹介(氏名、出身地、学校を選んだ理由等) はじめましてゲーム(グーパー、後出しじゃんけん、協調グーパー)			
	2	グループワーク (グループの人の良いところを探そう、人の話を聴く、否定しない) 印象ゲーム・ベスト9			
	3	グループワーク (相手を思いやる、私も心を開くので) 3億円勝負、都道府県ビンゴ			
	4	チャレンジ・ザ・ゲーム(グループでお互いに助け合う) キャッチング・ザ・スティック、ボール送り			
	5	チャレンジ・ザ・ゲーム(グループでお互いに助け合う)			
	6	チャレンジ・ザ・ゲーム(練習の成果をみる)			
	7	チャレンジ・ザ・ゲーム(練習の成果をみる)			
	15	試験			
使用教材	特になし				
履修上の注意	ジャージ着用、メモ帳・筆記用具持参				
成績評価の方法	授業態度などで総合的に判断する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	カウンセリング				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	臨床心理士		
目的/概要	カウンセリングの基礎と方法を学ぶ。				
到達目標	①治療者と患者が接する場面における心理状況 ②患者と接する際の配慮 のそれぞれの一端を理解する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	主観的な理解			
	2	待つという支援			
	3	外在化			
	4	抑圧・否認			
	5	伝え返し アイ・メッセージとユー・メッセージ 心理的リアクタンス			
	6	非言語コミュニケーションに着目する			
	7	リフレーミング			
	8	悲しみに触れる			
	9	悲しめることと落ち込めること			
	10	悲しみや傷つきを和らげようとする方法 防衛機制			
	11	反動形成			
	12	投影・打ち消し 投影同一化			
	13	投影の引き戻し			
	14	治療者性と患者さん性			
15	筆記試験				
使用教材	テキスト：こころのナース夜野さん 小学館, 大切な人が死ぬとき 竹書房				
履修上の注意	授業内のワークに参加すること				
成績評価の方法	授業内レポート, 筆記試験および授業態度によって評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	音楽				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	協調性を養い、感性を豊かにする。				
到達目標	音楽に親しむことにより、感性、創造性、自己表現力を養う。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	自己紹介(音楽経験等)、身体を楽にした発声、「校歌」歌詞を理解し音をとる			
	2	お腹を使った発声、「校歌」パート毎に音をとる			
	3	顔の筋肉を柔らかくした発声、「校歌」強弱をつける、歌詞をはっきり発音			
	4	「立ち止まって」歌詞を詠み音をとる、「校歌」相手の音を聴きハーモニーを意識した歌い方			
	5	校歌歌唱試験			
	6	「立ち止まって」音を取り、強弱をつける「オンブラ・マイ・フ」発音と詠み方意味を理解する、音をとる			
	7	「立ち止まって」ハーモニーを意識して歌う「オンブラ・マイ・フ」音をとる「童謡」リズムをとる			
	8	「オンブラ・マイ・フ」強弱をつける「童謡」輪唱、重なる音を聴く			
	9	音楽鑑賞「ベートーヴェン物語」			
	10	「風になる」歌詞を詠み音をとる			
	11	「風になる」音を取り、強弱をつける			
	12	「風になる」「立ち止まって」「オン・ブラ・マイ・フ」ハーモニーを聴く、伴奏に合わせて歌う			
	13	サウンドスケープ(身の周りの音に耳を傾ける)リズムを使って音楽を作る			
	14	楽器制作、楽器の特性を生かした作品を作る			
15	作品発表、合奏				
使用教材	特になし				
履修上の注意	ピアノ・椅子の準備				
成績評価の方法	校歌試験・授業態度など総合的に評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	保健体育				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	実技
曜日・時限	水曜日・4時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	心身の健全な発達と体力の向上を図り、チームプレイを通して協調性と責任を養う。多くの競技種目の基本技術を習得し、その特性を理解した上で試合形式中心の授業を行い、スポーツを楽しみ、体力の維持・向上に繋げる。				
到達目標	基礎技術、応用プレー技術の習得と仲間とのチームワークの大切さを認識し、スポーツを通じ健康維持、増進を図る。スポーツにおける自己表現力の向上を図る。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	オリエンテーション、アイスブレイクゲーム			
	2	体づくり運動 (バドミントン導入)			
	3	体づくり運動 (バドミントン導試合)			
	4	バドミントン審判法、試合			
	5	ニュースポーツ、インディアカ			
	6	体づくり運動 (バレーボール導入)、パス			
	7	バレーボール、サーブ、スパイク、試合			
	8	バレーボール、試合、審判法			
	9	ニュースポーツ、レクリエーション、スポーツ鬼ごっこ			
	10	体づくり運動 (卓球導入)			
	11	卓球シングルス試合			
	12	卓球ダブルス試合			
	13	スポーツ大会練習			
	14	体づくり運動 (バレーボール・バスケットボール導入)			
	15	体づくり運動 (バスケットボール、パス・シュート)			
	16	バスケットボール試合			
	17	ニュースポーツ ユニホック			
	18	ニュースポーツ ユニホック			
	19	体づくり運動 (フットサル導入)			
	20	体づくり運動 (フットサル、パス・ドリブル)			
	21	ニュースポーツ ハンドボール			
	22	総括・まとめ			
	23	筆記試験			
使用教材	講義に合わせた用具 初回に筆記用具を使用				
履修上の注意	動きやすく運動のできる格好で参加する。デニム・スカートでの参加は認めない。 タオルや水分補給のできる準備をする。				
成績評価の方法	筆記試験・授業態度で評価する。 60点以上合格				

5. シラバス

(2) 専門基礎分野

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	解剖生理学 I				
履修年次	1年次	履修学期	前期/後期	授業形態	講義
曜日・時限	金曜日・2時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	歯科医師 病院勤務経験あり		
目的/概要	正常なからだの基本的な形態と構造を理解する。				
到達目標	人体を構成している骨や筋、臓器の位置、名称、構造を理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	解剖学序論、体の部位と名称、組織			
	2	消化器系			
	3	消化器系			
	4	消化器系			
	5	呼吸器系			
	6	呼吸器系、泌尿器系			
	7	泌尿器系			
	8	脈管系			
	9	脈管系			
	10	脈管系			
	11	実習			
	12	生殖器系			
	13	生殖器系			
	14	中間筆記試験、内分泌系			
	15	神経系			
	16	神経系			
	17	神経系			
	18	感覚器系			
	19	感覚器系			
	20	骨・関節・筋肉系			
	21	骨・関節・筋肉系			
	22	骨・関節・筋肉系			
	23	終了筆記試験			
使用教材	テキスト：入門人体解剖学 南江堂				
履修上の注意					
成績評価の方法	中間筆記試験・終了筆記試験の平均点で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	解剖生理学 II				
履修年次	1年次	履修学期	前期/後期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・2時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	正常なからだの基本的な機能を理解する。				
到達目標	生命を保つために必要な機能を理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. オリエンテーション			
	2	2. 化学の基礎			
	3	3. 人体の構造と機能 1) 細胞と組織			
	4	2) 消化器系			
	5	3) 呼吸器系			
	6	4) 泌尿器系			
	7	5) 心臓血管系①			
	8	5) 心臓血管系② 6) 血液			
	9	7) 外皮系			
	10	8) リンパ系と生体防御機構①			
	11	8) リンパ系と生体防御機構②			
	12	9) 生殖器系①			
	13	筆記試験① 9) 生殖器系②			
	14	10) 内分泌系①			
	15	10) 内分泌系②			
	16	11) 神経系①			
	17	11) 神経系②			
	18	12) 特殊感覚			
	19	13) 骨格系①			
	20	13) 骨格系②			
	21	14) 筋系①			
	22	14) 筋系②			
	23	筆記試験②			
使用教材	人体の構造と機能 第4版 著 エレイン N. マリーブ				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験①・②の平均点で評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	生化学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	人体の生命現象を科学的に理解する。				
到達目標	栄養や薬品の作用機構の理解へ向けた必要な知識の習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	生化学の基礎			
	2	代謝と酵素			
	3	糖質			
	4	糖質代謝			
	5	脂質			
	6	脂質代謝			
	7	タンパク質			
	8	タンパク質代謝			
	9	中間テスト			
	10	ビタミン			
	11	ホルモン			
	12	核酸と遺伝子			
	13	DNAの転写・翻訳			
	14	がん			
15	期末テスト				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 生化学				
履修上の注意	高校教育課程における生物・化学の知識があることが望ましい。				
成績評価の方法	中間・期末の筆記試験の合計点数で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	栄養学				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/実習
曜日・時限	水曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	管理栄養士	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	人間にとっての栄養の意義を理解し、臨床における栄養と食事療法の方法を知る。				
到達目標	栄養食事療法の意義を理解し、ライフステージ・健康状態に応じた栄養食事療法の実際がわかる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	栄養・食事療法とは 成人食の分類と特徴			
	2	栄養補給法・栄養アセスメントの基本 症状別栄養食事療法			
	3	呼吸器疾患の栄養食事療法 循環器疾患の栄養食事療法			
	4	消化器疾患の栄養食事療法			
	5	腎・泌尿器疾患の栄養食事療法			
	6	栄養代謝性疾患の栄養食事療法			
	7	血液、熱傷・褥瘡、精神・神経系疾患の栄養食事療法			
	8	術前・術後の栄養管理			
	9	がんの栄養食事療法			
	10	ライフステージ別の栄養食事療法 医療保険制度・介護保険制度と食事			
	11	食品成分表を用いた栄養計算 調理実習(自由献立)の献立作成(1時間)			
	12	調理実習(治療食)			
	13				
	14	調理実習(自由献立)			
	15				
16	筆記試験(1時間)				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 食品成分表 2020 女子栄養大学 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 糖尿病の手引き 南江堂				
履修上の注意	調理実習は、各自エプロンを持参する。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	薬理学				
履修年次	1年次	履修学期	前期/後期	授業形態	講義
曜日・時限	水曜日・1時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師A	実務経験	なし		
	非常勤講師B		なし		
	非常勤講師C		なし		
	非常勤講師D		病院勤務経験有		
	非常勤講師E		病院勤務経験有		
目的/概要	薬物の特徴、作用、副作用、取り扱いや管理について学ぶ。				
到達目標	薬物の特徴、作用機序、薬物動態、副作用および取り扱いや管理についての知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 B	第1部 薬理学総論			
	2 B	〃			
	3 B	〃			
	4 B	第7章 末梢での神経活動に作用する薬物			
	5 B	〃			
	6 B	第8章 中枢神経系に作用する薬物			
	7 B	〃			
	8 B	第5章 免疫治療薬			
	9 B	第6章 抗アレルギー薬・抗炎症薬			
	10 B	〃			
	11 C	第3章 抗感染症薬			
	12 C	第4章 抗がん薬			
	13 B	第9章 心臓・血管系に作用する薬物			
	14 B	〃			
	15 B	〃			
	16 A	第10章 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物			
	17 A	〃			
	18 C	第11章 物質代謝に作用する薬物			
	19 C	〃			
	20 A	第12章 皮膚科用薬・眼科用薬第、13章 救急の際に使用される薬物			
	21 D	第14章 漢方薬、第15章 消毒薬			
	22 D	筆記終了試験 (1時間)			
23 E	薬剤部見学				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 薬理学				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験 (講師合同) で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	微生物学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師A	実務経験	なし		
	非常勤講師B		なし		
	非常勤講師C		病院勤務経験有		
目的/概要	感染症の原因となる病原微生物について学ぶ。				
到達目標	病原微生物の種類・特徴、消毒法、検査法を学び生体に及ぼす影響を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	A	微生物学 総論 ①		
	2	A	" 総論 ②		
	3	C	細菌学総論		
	4	C	細菌学各論 ①		
	5	C	細菌学各論 ②		
	6	C	細菌学各論 ③		
	7	C	細菌学各論 ④		
	8	B	ウイルス学総論		
	9	B	ウイルス学各論 ①		
	10	B	ウイルス学各論 ②		
	11	A	ウイルス学各論 ③		
	12	A	ウイルス学各論 ④ (1時間)		
	13	B	免疫学各論 ①		
	14	B	免疫学各論 ②		
	15	C	その他の感染症		
16		筆記試験 (1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎 微生物学				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験（3名合同）で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	病理学				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	非常勤講師 *		なし		
目的/概要	疾病の成り立ちと病態の特徴を理解する。				
到達目標	「疾病」とは、人体の構造・機能に異常をきたしたものであるが、その種類・機序などは多彩である。本講義では、疾病全体についての概説を行うことにより、看護師として必要な医学・医療に関する知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 *	総論：病理学・病理検査とは			
	2 *	総論：細胞・組織の障害と修復			
	3	総論：循環障害			
	4 *	総論：炎症と免疫、アレルギー			
	5	総論：腫瘍①			
	6 *	総論：腫瘍②			
	7	総論：先天異常と遺伝子異常			
	8 *	筆記試験（中間）、解説			
	9	各論：循環器疾患			
	10	各論：呼吸器疾患			
	11	各論：消化器疾患①			
	12	各論：消化器疾患② 泌尿器・生殖器疾患			
	13 *	各論：内分泌疾患			
	14	各論：脳・神経系、運動器疾患			
15	筆記試験（期末）、解説				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 病理学 その他、補助資料を配布する。				
履修上の注意	指定教科書を持参すること。毎回の授業に関する内容をノート等にまとめること。				
成績評価の方法	2回の筆記試験により評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	疾病論Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	健診部医師	実務経験	病院勤務経験有		
	呼吸器外科医師*		病院勤務経験有		
	循環器内科医師		病院勤務経験有		
	高血圧内科医師森		病院勤務経験有		
目的/概要	呼吸器系・循環器系の疾病の成り立ちと回復について学び看護に活かす。				
到達目標	呼吸器・循環器疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	健診部医師	<呼吸器>			
	1	構造と機能			
	2	症状と病態生理			
	3	*	呼吸器外科で扱う疾患 術後管理 合併症		
	4	検査①			
	5	検査② 処置			
	6	感染症			
	7	非感染症			
	8	筆記試験① (1時間)			
	循環器内科医師	<循環器>			
	9	機能と構造 症状と検査			
	10	主な疾患 心不全			
	11	〃	心臓弁膜症・心筋症など		
	12	〃	頻脈性不整脈など		
	13	〃	徐脈性不整脈など		
	14	〃	虚血性心不全など		
15	森	〃 高血圧症			
16	筆記試験② (1時間)				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験① 60点以上合格 筆記試験② 60点以上合格 筆記試験①、筆記試験②の平均点を疾病論Ⅰの評価とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	疾病論Ⅱ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	胃腸内科医師A	実務経験	病院勤務経験有		
	胃腸内科医師B		病院勤務経験有		
	肝臓科医師C		病院勤務経験有		
	外科医師D		病院勤務経験有		
	外科医師E		病院勤務経験有		
	外科医師F		病院勤務経験有		
目的/概要	消化器系の疾病の成り立ちと回復について学び看護に活かす。				
到達目標	消化器系疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
		<内科>			
	1	C	肝臓・胆道・膵臓 構造と機能・検査		
	2	C	〃 肝炎・肝硬変など		
	3	C	〃 胆道・膵臓疾患など		
	4	A	腸および腹膜疾患①		
	5	A	腸および腹膜疾患②		
	6	B	食道疾患		
	7	B	胃・十二指腸疾患		
	8		筆記試験①(1時間)		
		<外科>			
	9	E	食道疾患		
	10	E	肝臓・胆道・膵臓疾患		
	11	E	門脈・脾臓疾患		
	12	D	胃疾患		
	13	D	腸・腹膜疾患①		
14	D	腸・腹膜疾患②			
15	F	乳腺疾患			
16		筆記試験②(1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ消化器 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験①(3名合同) 60点以上合格 筆記試験②(3名合同) 60点以上合格 筆記試験①、筆記試験②の平均点を疾病論Ⅱの評価とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	疾病論III				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	糖尿病内科医師*	実務経験	病院勤務経験有		
	腎臓内科医師		病院勤務経験有		
	整形外科医師		病院勤務経験有		
目的/概要	内分泌・代謝及び運動器疾患の疾病の成り立ちと回復について学び看護に活かす。				
到達目標	内分泌・代謝及び運動器疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	糖尿病内科医師	<内分泌・代謝疾患>			
	1 *	糖尿病総論			
	2 *	糖尿病治療・合併症①			
	3 *	糖尿病治療・合併症②			
	4	内分泌総論			
	5	内分泌各論① 下垂体・甲状腺			
	6	内分泌各論②			
	7 *	脂質異常症			
	8	筆記試験① (1時間)			
	整形外科医師	<運動器疾患>			
	9	運動器総論			
	10	外傷性疾患①			
	11	外傷性疾患②			
	12	運動器疾患各論①			
	13	運動器疾患各論②			
	14	運動器疾患各論③			
15	ギプスの演習				
16	筆記試験② (1時間)				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野II 内分泌・代謝 系統看護学講座 専門分野II 運動器				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験① 60点以上合格 筆記試験② 60点以上合格 筆記試験①、筆記試験②の平均点を疾病論IIIの評価とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	疾病論Ⅳ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	泌尿器科医師	実務経験	病院勤務経験有		
	リウマチ科医師A		病院勤務経験有		
	リウマチ科医師B		病院勤務経験有		
	血液内科医師		病院勤務経験有		
目的/概要	血液、腎・泌尿器、アレルギー・膠原病の成り立ちと回復について学び看護に活かす。				
到達目標	血液、腎・泌尿器、アレルギー・膠原病の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	泌尿器科医師	<腎・泌尿器>			
	1	腎・泌尿器の構造と機能			
	2	症状と病態生理			
	3	検査・治療・処置			
	4	疾患の理解①			
	5	疾患の理解②			
	6	疾患の理解③			
	7	筆記試験①(1時間)			
	リウマチ科医師	<アレルギー・膠原病>			
	8	A	免疫の基礎①		
	9	A	免疫の基礎②		
	10	B	免疫 各論①		
	11	B	免疫 各論②		
	12	血液	造血・貧血の診断		
13	血液	白血球異常病態、対応			
14	血液	出血・止血・線溶の病態、対応			
15	筆記試験②(1時間)				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー・膠原病 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血器				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験① 60点以上合格 筆記試験② 3名合同で行う。60点以上合格 筆記試験①、筆記試験②の平均点を疾病論Ⅳの評価とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	疾病論Ⅴ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	脳神経外科医師	実務経験	病院勤務経験有		
	皮膚科医師		病院勤務経験有		
	眼科医師		病院勤務経験有		
	耳鼻咽喉科医師		病院勤務経験有		
目的/概要	脳・神経、皮膚、眼、耳鼻咽喉の疾病の成り立ちと回復について学び看護に活かす。				
到達目標	脳・神経、皮膚、眼、耳鼻咽喉の疾病の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	脳神経外科医師	<脳・神経>			
	1	脳・神経系の構造と機能①			
	2	脳・神経系の構造と機能①			
	3	神経症状の見方①			
	4	神経症状の見方②			
	5	出血性脳血管障害			
	6	虚血性脳血管障害			
	7	外傷・変性疾患			
	8	筆記試験 (1時間)			
		<皮膚・眼・耳鼻咽喉>			
	8 皮膚	皮膚の構造と機能			
	9 皮膚	皮膚疾患の理解① 検査と治療			
	10 皮膚	皮膚疾患の理解② 褥瘡 (1時間)			
	11 眼	眼の構造と機能 眼科疾患①			
	12 眼	眼科疾患②			
13 耳鼻	耳鼻咽喉の構造と機能 聴力障害について				
14 耳鼻	鼻咽喉				
15	耳鼻咽喉科疾患について				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ	脳・神経			
	〃	皮膚			
	〃	眼			
	〃	耳鼻咽喉			
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	脳神経は筆記試験を行う。 60点以上合格 皮膚・眼・耳鼻咽喉 (8~15回) は、出席状況で評価する。 * 疾病論Ⅴは脳神経の筆記試験を合格し、皮膚・眼・耳鼻咽喉 (8~15回) の講義を3分の2以上出席した者に疾病論Ⅴの単位を認定する。 * 脳神経の筆記試験の点数を疾病論Ⅴの評価とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	公衆衛生学				
履修年次	3年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・1.2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	非常勤講師*		なし		
	非常勤講師森		なし		
目的/概要	公衆衛生に関する統計、健康の保持増進、疾病予防のための保健活動を学ぶ。				
到達目標	公衆衛生に関する統計、健康の保持増進、疾病予防のための保健活動(1次～3次予防)の知識を修得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	公衆衛生と疫学・統計 公衆衛生と健康の概念			
	2	疫学			
	3	保健統計①(人口統計)			
	4	保健統計②(健康の指標)			
	5	社会保障、難病対策 保健と福祉(保健行政を含む)			
	6	成人保健と健康増進(栄養)			
	7	森	地域保健、保健所・保健センター		
	8	森	母子保健、高齢者保健		
	9	食品保健			
	10	感染症対策			
	11	*	歯科保健		
	12	*	学校保健、精神・障害者保健		
	13	環境保健、産業保健			
	14	国際保健			
	15	筆記試験(1時間)まとめ(1時間)			
使用教材	テキスト:公衆衛生がみえる2018-2019(医療情報科学研究所) 国民衛生の動向2018/2019年(一般財団法人厚生労働統計協会)				
履修上の注意	全て、教科書の内容と追加資料を中心とした講義形式の授業				
成績評価の方法	筆記試験(3名合同)・授業態度などで総合評価する。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	健康教育と技法				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	保健師	実務経験	病院勤務経験有		
	管理栄養士*		病院勤務経験有		
	理学療法士森		病院勤務経験有		
目的/概要	健康教育の考え方と指導方法を学ぶ。				
到達目標	対象に合わせた指導方法の実際を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	*	生活習慣病予防・改善のための食事療法		
	2	森	I n b o d y 骨密度測定 (演習)		
	3	森	骨粗鬆症の予防と改善、メタボリックシンドロームの予防と改善		
	4	*	生活習慣病予防・改善のための食事療法 (症例検討)		
	5		生活習慣病予防・改善等に関する保健師の役割他		
	6		症例検討 (グループワーク・演習)		
	7	森	勤労者における高血圧対策・腰痛体操について		
	8		筆記試験		
使用教材	必要時資料の提示				
履修上の注意	I n b o d y 骨密度測定 は、測定しやすい服装で出席する。				
成績評価の方法	筆記試験 (3名合同) で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	医療総論				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	水曜日・3時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	校長	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	医療の歴史的背景を知り、医療従事者としての倫理を学ぶ。				
到達目標	医学について学び、看護の役割を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	医学・看護とは			
	2	医学史			
	3	健康・病気・医学の体系 病気の原因			
	4	病期による身体に変化 診断			
	5	病気の治療とリハビリテーション 病気の予防 ①			
	6	病期の予防 ② 新しい医療システム			
	7	医療および看護の生命へのアプローチ 衛生統計			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：系統看護学講座別巻 医学概論				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	関係法規				
履修年次	3年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	保健、医療、福祉に関する諸制度を理解し、関連する法律について学ぶ。				
到達目標	看護に必要な法令を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	法の概念（法とは、法の分類、衛生法）			
	2	厚生行政の仕組み（厚生労働省、都道府県、市町村）			
	3	医事法（保健師助産師看護師法）			
	4	医事法（医師法、医療法、歯科医師法）			
	5	保健福祉関係資格法（薬剤師法、その他）			
	6	保健衛生法、薬務法			
	7	環境衛生法、その他			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 看護関係法令				
履修上の注意	集中講義を行うため、欠席しないように注意する。				
成績評価の方法	筆記試験（80%）、レポート（20%）60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	社会福祉				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・2時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	社会福祉の動向と社会福祉制度と地域での実践について学ぶ。				
到達目標	社会福祉の目的概念や実態概念、求められているものを理解し、対象・領域と制度・サービスについての知識を深める				
授業計画	時期	授業内容			
	1	社会福祉を学ぶ意義、社会福祉とは、目的概念、実態概念、今求められているもの、社会事業から社会福祉事業（社会福祉）へ			
	2	社会福祉の法制度、歴史的展開、社会福祉法の成立に向けて、福祉三法、六法、関係八法など			
	3	社会福祉の組織と管理、実施体制、従事者と担い手など			
	4	高齢者福祉、高齢者福祉の施策、在宅事業、健康増進と社会参加、介護について（介護保険と高齢者）認知症高齢者支援など			
	5	障害者福祉、定義と実践、障害者施策の変遷、障害者総合支援法体系、身体、知的、精神障害者の福祉、発達障害者支援			
	6	児童家庭福祉、定義と実践、少子化対策、子ども・子育て施策、児童虐待、DV対策、少年犯罪など			
	7	地域福祉、社会福祉の実践と医療・看護、社会福祉援助技術、援助の課題、医療との連携の重要性、地域保険サービスと地域福祉、まとめ			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 社会保障・社会福祉（医学書院）、レジュメを配布				
履修上の注意	積極性を持って授業に取り組むこと。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	社会保障				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・2時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	わが国の社会保障を取り巻く環境と、その制度や法律と活用について学ぶ。				
到達目標	社会保障の目的や機能、歴史を理解し、対象・領域と制度・サービスについての知識を深める。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	社会保障を学ぶ意義、社会保障について、概念整理、社会保障関係費を中心に、わが国の財政について考える、社会保障制度の変遷			
	2	わが国の社会保障を取り巻く環境①（人口の変化、平均寿命、出生率、家族・個人の変化など）			
	3	わが国の社会保障を取り巻く環境②（経済状況、就業構造、雇用情勢、地域構造、国民生活構造の変化など）			
	4	社会保障制度改革、社会保障と税の一体改革、少子化対策と地方創生など			
	5	保健医療の動向、生活習慣病対策、地域保健対策の展開、医療保障、高齢者医療制度、国民医療費			
	6	所得保障、年金保険制度、社会手当、労働保険制度、介護保障など			
	7	公的扶助、生活保護、生活保護法改正法、生活困窮者自立支援法など、まとめ			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 社会保障・社会福祉（医学書院）、レジュメを配布				
履修上の注意	積極性を持って授業に取り組むこと。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格。				

5. シラバス

(3) 専門分野Ⅰ

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	基礎看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	月曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	副校長	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護の概念を学び、社会に求められる看護の役割を理解する。				
到達目標	1.看護の基本的概念(人間、健康、環境、看護)を基軸として看護実践の基盤となるものを理解する。 2.看護の対象と看護の役割、看護ケアの本質を理解する。 3.看護における倫理的判断の基本を理解する。 4.看護提供の場、看護マネジメントとサービスの質保証について理解する。 5.労災病院の役割と機能を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護の本質 看護の変遷、定義、看護の主要概念			
	2	看護の本質 看護の役割と機能			
	3	労災病院の使命 労働者健康安全機構 労災病院の役割			
	4	看護の対象 人間の「こころ」と「からだ」			
	5	看護の対象 成長発達、ライフサイクル、人と暮らし			
	6	健康と看護 健康のとらえ方 健康の関連要因			
	7	健康と看護 国民の健康の全体像・健康状態			
	8	健康と看護 国民のライフスタイルと健康・生活			
	9	職業としての看護 職業としての歴史的変遷			
	10	職業としての看護 職業養成制度とキャリア 就業状況			
	11	保健・医療・福祉 保健・医療・福祉の連携と看護の実際			
	12	看護と倫理 患者の権利と擁護 看護実践と倫理			
	13	看護と医療安全 安全管理・感染管理			
	14	看護の活動領域 看護サービス提供の場 看護制度・保険制度			
看護の活動領域 看護の国際化と災害看護					
15	筆記試験				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護学1看護学概論 医学書院 参考文献：フローレンス・ナイチンゲール 「看護覚え書」(現代社) ヴァージニア・ヘダーソン「看護の基本となるもの」(日本看護協会出版会) 「よくわかる看護者の倫理綱領」(照林社)				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	基礎看護技術Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員*		病院勤務経験有		
目的/概要	看護技術の概念と看護活動に共通する基礎的看護技術を習得する				
到達目標	看護実践に必要な観察及び健康状態を評価するための技術を習得する 呼吸管理と電法の基礎的技術を習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護技術とは			
	2	コミュニケーションの基礎知識			
	3	基本的態度、コミュニケーションの技法①			
	4	コミュニケーションの技法②(演習)			
	5	プロセスレコード(演習)			
	6	*ヘルスアセスメントの意義と目的 健康歴とセルフケア能力のアセスメント			
	7	*フィジカルアセスメントに必要な技術 身体計測の方法と実際(演習)			
	8	*系統別アセスメントの実際:①呼吸器系のアセスメント(演習)			
	9	*系統別アセスメントの実際:①呼吸器系のアセスメント 呼吸・循環を整える技術<酸素療法>(演習)			
	10	バイタルサインの意義			
	11	*系統別アセスメントの実際:②循環器のアセスメント(演習)			
	12	*筆記試験① 症状・生体機能管理技術<心電図>(演習)			
	13	体温の測定方法とアセスメント(演習1時間)			
	14	脈拍・呼吸の測定方法とアセスメント(演習1時間)			
	15	血圧の測定方法とアセスメント(演習1時間)			
	16	*系統別アセスメントの実際:③腹部のアセスメント④筋・骨格系のアセスメント(演習)			
	17	*系統別アセスメントの実際:⑤脳・神経系のアセスメント 意識レベルの観察(演習)			
	18	*苦痛の緩和・安楽確保の技術<電法>(演習)			
	19	*			
	20	血圧測定の実際(演習1時間)			
	21	体温・脈拍・呼吸・血圧測定(演習)			
	22	技術試験:バイタルサイン測定			
	23	筆記試験②			
使用教材	1.任和子:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅰ,医学書院,2021 2.茂野香おる:系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅱ,医学書院,2021 3.岡庭豊:看護がみえる v o l .1 基礎看護技術 第1版,メディックメディア,2018 4.岡庭豊:フィジカルアセスメントがみえる 第1版,メディックメディア,2019 5.坂本すが、井手尾千代美監修:完全版ビジュアル 臨床看護技術ガイド,照林社,2018 6.中村充浩:わかる!使える!バイタルサイン・フィジカルアセスメント,照林社,2019				
履修上の注意	<p>学習の心構え】 [学習した理論や方法に基づいた技術を身につける]</p> <p>1) テキストをよく理解し自分で調べる力をもつ。そのため、既習知識の復習や授業の予習の課題を適宜与える。 2) 技術の練習を繰り返し行い、学内での技術練習を各自の責任において行う。 *臨地実習において、その技術に対する学習や訓練が不足している場合は、当然実施させてはもらえない。</p> <p>【校内演習の目的】</p> <p>1) 看護技術の知識の確認、標準的な方法の習得、対象者への適応の仕方、看護者としての態度を学ぶ。 2) 患者・看護師の役割体験をすることにより、それぞれの感情や欲求に気づく。 3) 学生同士、技術を評価しあうことにより、自己を知る機会とする。</p> <p>【校内演習での諸注意】 [看護実習室の使い方(別紙)]にもとづく。</p> <p>1) 看護技術に使用する物品の正しい取り扱いができるように、準備から後始末まで責任をもって行う。 2) 服装:第7回以降は、原則ユニホーム着用とし、実習同様に身支度を整える。 アクセサリーの装着厳禁、頭髮はまとめピンで留める、爪は短く切りマニキュア厳禁、等 3) ベッドには腰かけたり寝たりしない。物品を破損・紛失した場合は申し出る。</p>				
成績評価の方法	コミュニケーション・バイタルサイン測定の内容を含め 筆記試験①・筆記試験②(それぞれ100点満点)の平均点、授業態度・課題提出・技術試験から総合的に評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	基礎看護技術Ⅱ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護活動に共通する基礎的看護技術を習得する				
到達目標	1.看護過程を構成する要素とそのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解する。 2.看護過程の構成要素について、その基本的な考え方と実際を学ぶ。 3.看護記録の目的と留意点、その構成について学ぶ。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1.看護過程の概要			
	2	2.看護過程展開の基盤となる考え方			
	3	3.看護過程の展開 (1) アセスメント			
	4				
	5	アセスメントの実際			
	6	3.看護過程の展開 (2) 看護問題の明確化			
	7	3.看護過程の展開 (3) 計画立案			
	8	看護問題の明確化・計画立案の実際			
	9				
	10				
	11	*課題(紙上事例)提示			
	12	3.看護過程の展開 (4)実施 (5)評価			
	13	4.看護記録			
	14	看護記録の実際、優先順位および看護計画の追加・修正			
15	筆記試験 まとめ				
使用教材	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア				
履修上の注意	*必要時、資料配布				
成績評価の方法	筆記試験：40点 紙上事例課題：50点 提出物他：10点 合計：100点 60点以上で合格。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

科目名	基礎看護技術Ⅲ			
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態 講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(45時間)	
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有	
目的/概要	看護活動に共通する基礎的看護技術を習得する			
到達目標	1.環境に関する基礎知識、看護技術の修得 2.病床環境を整えるための知識、援助技術の修得 3.食事援助の基礎知識を理解する 4.食事介助・摂食・嚥下訓練の具体的方法を学ぶ 5.非経口的栄養摂取の援助の概略について理解し、経鼻経管栄養法の具体的な方法を学ぶ 6.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、生活援助の効果と全身への影響を理解する。 7.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際を学ぶ。 8.病床での衣生活の基礎知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ。			
授業計画	時期	授業内容		
	1	療養生活の環境 病室の環境のアセスメントと調整 病棟の構造と病室・病床の種類		
	2	安全・安楽な病床・環境整備 ベッドメイキングの目的留意点・ベッドを知る		
	3	ベッドメイキングの実際（クローズドベッド） 2人で実施する方法（演習）		
	4	ベッドメイキングの実際（オープンベッド） 1人で実施する方法（演習）		
	5	リネン交換の目的留意点 リネン交換の実際（演習・講義）		
	6	筆記試験①		
	7	ベッドメイキング技術確認		
	8	食事とは 食事援助の基礎知識		
	9	食事援助の基礎知識 自分の食生活を知る		
	10	食事介助 摂食・嚥下訓練		
	11	病人の食事 食事介助の演習		
	12	非経口的栄養摂取の援助について		
	13	モデル人形での経鼻胃カテーテル挿入演習		
	14	筆記試験②		
	15	清潔の援助の基礎知識と病床での衣生活の援助		
	16	臥床患者の手浴の演習（ベッド上座位）		
	17	臥床患者の足浴の演習（ベッド上仰臥位）		
	18	病床での衣生活：寝衣交換の演習（ベッド上仰臥位）		
	19	部分清拭の演習：上半身と寝衣交換（ベッド上仰臥位）		
	20	部分清拭の演習：下半身と寝衣交換（ベッド上仰臥位）		
	21/22	洗髪台・ケリーパッドの演習（洗髪用椅子の仰臥位・ベッド上仰臥位）		
	23	入浴・シャワー浴の意義、陰部洗浄の演習（モデル人形）		
	24	筆記試験③		
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 看護がみえるVOL1 基礎看護技術 完全版 ビジュアル臨床看護技術ガイド			
履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。			
成績評価の方法	環境	筆記試験①60点、ベッドメイキングの技術確認40点の合計100点で評価し、60点以上が合格。 筆記試験36点未満、技術確認24点未満の場合、それぞれで再試験あり。		
	食事	筆記試験②で評価し、100点満点中60点以上が合格。 平常点と提出物未提出、提出遅れ等で減点あり。 60点未満場合、再試験あり。		
	清潔	筆記試験③80点、演習提出物20点の合計100点で評価し、60点以上が合格。 60点未満場合、再試験あり。 平常点（授業態度：居眠り等、忘れ物、欠課・欠席数）と提出物期限遅れ・忘れ等で減点あり。		
	評価：上記3つの単元の合計点の平均とする。			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	基礎看護技術Ⅳ					
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習	
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(45時間)			
担当教員	専任教員A	実務経験	病院勤務経験有			
	専任教員B		病院勤務経験有			
目的/概要	看護技術の概念と看護活動に共通する基礎的看護技術を習得する					
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解する。 2. さまざまな体位とその目的を理解し、体位変換の援助を学ぶ 3. 車椅子、ストレッチャーについて理解し、移乗の援助と移送の方法を学ぶ 4. 睡眠と休息の意義を理解し、睡眠を促す援助方法を理解する。 5. 自然排尿および自然排便の基礎知識を理解し、援助方法を習得する。 6. 排便を促す援助法について学び、援助技術を習得する。 7. 導尿の必要な患者への援助について学び、援助技術を習得する。 8. 人工的排出口(ストーマ)装着の患者への援助技術を理解する。 					
授業計画	時期	授業内容				
	1	基本的活動の基礎知識 よい姿勢とは				
	2	基本的活動の基礎知識 ボディメカニクス、体位 (演習1時間)				
	3・4	体位変換 (演習1時間)				
	5	車椅子の移乗、移送 (演習1時間)				
	6	ストレッチャーの移乗、移送 (演習1時間)				
	7	歩行の介助 (演習1時間)				
	8	筆記試験①				
	9	睡眠と休息の援助に必要な基礎知識				
	10	*	排泄の意義、排尿・排便のメカニズムと観察・アセスメント			
	11	*	排尿・排便を促す援助の基礎知識 (トイレでの排泄、ポータブルトイレ、尿器・差込便器)			
	12・13	*	排尿・排便を促す援助 (演習: トイレ、ポータブルトイレ、尿器、便器)			
	14	*	ストーマケア・オムツを用いた排泄介助			
	15	*	洗腸・摘便の援助の基礎知識			
	16	*	洗腸 (演習)			
	17	*	一時的導尿の基礎知識			
	18・19	*	一時的導尿 (演習)			
	20	*	持続的導尿の基礎知識			
	21・22	*	持続的導尿 (演習)			
	23	筆記試験②、まとめ				
	使用教材	<p><テキスト></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 任和子ほか: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③, 医学書院, 2021. 2. 福家幸子ほか: 導尿・洗腸・摘便ができる, 医学書院, 2015. 3. 岡庭豊: 看護がみえる vol.1 基礎看護技術, 第1版, メディックメディア, 平成30年. 4. 岡庭豊: フィジカルアセスメントがみえる, 第1版, メディックメディア, 平成28年. 				
	履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
	成績評価の方法	<p>活動 (専任教員A) : 筆記試験25点満点+授業態度・課題提出状況5点満点 = 計30点満点 休息・排泄 (専任教員B) : 筆記試験60点満点+授業態度・課題提出状況10点満点 = 計70点満点。</p> <p>活動の単元30点、休息・排泄の単元70点と合わせ100点満点中60点以上を合格とする。 不合格の場合、基礎看護技術Ⅳ 全範囲での再試験となる。</p>				

科目名	基礎看護技術V				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	専任教員A	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員B		病院勤務経験有		
目的/概要	看護技術の概念と看護活動に共通する基礎的看護技術を習得する				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染防止策の基本を理解し、院内感染を防止するための技術を習得する。 2. 治療に伴う検査の目的と意味を理解し、看護師の役割を学ぶ。 3. 薬物療法における看護師の役割・責任を理解し、与薬に必要な基礎的技術を習得する。 4. 安全管理の重要性を理解し、事故を未然に防止するために必要な対策を学ぶ。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	感染防止の技術 1)感染防止の基礎知識 2)標準予防策 3)感染経路別予防策			
	2	感染防止の基本技術① 1)手指衛生 2)洗浄・消毒・滅菌			
	3	感染防止の基本技術② 1)無菌操作 2)感染性廃棄物の取り扱い 3)カテーテル関連血流感染対策 4)針刺し防止策			
	4	感染防止の基本技術③ 無菌操作【演習】 ①滅菌物品の取り扱い			
	5	感染防止の基本技術④ 無菌操作【演習】 ②滅菌手袋・滅菌ガウンの着用 ガウンテクニック・隔離 安全確保の技術 1. 安全確保の基礎知識 2. 誤薬防止 3. チューブ類の予定外抜去防止 4. 患者誤認防止 5. 転倒転落防止 6. 薬剤・放射線曝露の防止			
	6	検査の種類と援助法：検体検査			
	7	検査の種類と援助法：生体検査①			
	8	検査の種類と援助法：生体検査② 侵襲的処置の介助技術：穿刺①			
	9	侵襲的処置の介助技術：穿刺②			
	10	筆記試験① (45分)			
	11	与薬の技術① 剤形と吸収経路 看護師の役割 1)経口 2)吸入 3)点眼 4)点鼻 5)経皮的与薬 6)直腸内与薬			
	12	与薬の技術② 注射の基礎知識			
	13	与薬の技術③ 注射剤の準備			
	14	与薬の技術④ 皮下注射 (演習)			
	15	与薬の技術⑤ 筋肉内注射 (演習)			
	16	与薬の技術⑥ 筋肉内注射 (演習)			
	17	与薬の技術⑦ 点滴静脈内注射 (演習)			
	18	与薬の技術⑧ 皮内注射・中心静脈栄養			
	19	与薬の技術⑨ 直腸内与薬 (演習)			
	20	症状・生体機能管理技術 採血 (演習)			
	21	輸血療法と管理			
	22	安全確保の技術① 1)基本原則の優先順位 2)誤薬防止			
23	安全確保の技術② 1)チューブ類の予定外抜去防止 2)患者誤認防止 3)転倒転落防止 4)薬剤・放射線曝露の防止 筆記試験② (45分)				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 ビジュアル 臨床看護技術ガイド 照林社 看護がみえる 基礎看護技術 メディックメディア 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ 看護技術がみえるvol.1 基礎看護技術 医療安全ワークブック 文 献：適宜必要な資料の配布・紹介をします。				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・専任教員A担当：1～10回 専任教員B担当：11～23回 ・演習の前に、演習を行う技術について各自事前学習を十分に行ってください。 ・事前学習では、テキスト「基礎看護技術Ⅱ」の動画も見ておいてください。 ・演習はユニフォーム着用。(実習時と同様に身だしなみを整える) ・身だしなみが整っていない場合は、整えてから出席してもらうことがあります。 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。 				
成績評価の方法	筆記試験①・②の評点を平均し、60点以上を合格とする。 レポート、演習態度、注射・採血の演習前後の課題も評価に含む。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 各教員が実施する試験の合計が60点未満の場合、基礎看護技術V 全範囲での再試験となる。				

科目名	臨床看護総論				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	専任教員A	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員B		病院勤務経験有		
	皮膚排泄ケア認定看護師*		病院勤務経験有		
目的/概要	目的：さまざまな健康上のニーズをもつあらゆる年齢層の対象への基本的な看護の考え方や知識、技術を統合して応用するプロセスやその実際を学ぶ。				
到達目標	目標 1. 健康上のニーズをもつ対象と家族の特徴を理解できる。 2. 経過に基づいた患者の看護の考え方や援助の方法が理解できる。 3. 症状・治療・処置に応じた看護の考え方や援助の方法が理解できる。 4. ME機器の原理を理解し、安全に使用するための方法を理解できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	健康上のニーズをもつ対象の理解			
	2	健康生活と看護 (健康の維持・増進)			
	3	疾病の経過と看護1 急性期の看護			
	4	疾病の経過と看護2 慢性期の看護			
	5	疾病の経過と看護3 リハビリテーション期の看護			
	6	疾病の経過と看護4 終末期の看護			
	7	〃	死の看取りの技術 ★ ◎		
	8	医療機器			
	9	主要症状看護1	呼吸・循環		
	10	主要症状看護2	栄養・代謝・排泄		
	11	主要症状看護3	活動・休息		
	12	主要症状看護4	認知・知覚・コーピング		
	13	主要症状看護5	安全・生体防御反応・安楽		
	14	治療・処置別看護1	放射線療法① (演習)		
	15	筆記試験① (1時間)	治療・処置別看護1 放射線療法②		
	16	治療・処置別看護2	創傷処置② ★ ☆		
	17	治療・処置別看護3	包帯法 (演習) ★ ☆		
	18	* 治療・処置別看護4	褥瘡ケア		
	19	治療・処置別看護5	手術療法・集中療法		
	20	治療・処置別看護6	輸液療法		
	21	治療・処置別看護7	人工臓器・呼吸を整える技術 ★ ◎		
	22	治療・処置別看護8	呼吸を整える技術 吸引 (演習) ★ ◎		
	23	筆記試験② (1時間)	(褥瘡ケアを含む)		
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術4 臨床看護総論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護がみえるVol.1 基礎看護技術 メディックメディア ビジュアル臨床看護技術ガイド 照林社 文献：適宜必要な資料の配布・紹介をします。				
履修上の注意	・臨床看護総論以外のテキストも使用する授業があります。授業内容の欄にマークを記載しています。確認の上持参してください。 ★印…「基礎看護技術Ⅱ」 ☆印…「看護がみえる」 ◎印…「ビジュアル看護技術ガイド」 ・第17回は、包帯法の演習です。肘や膝にも包帯を巻く練習を行いますので、服装はTシャツ・膝丈のジャージなど、上肢・下肢が出せるものを着用してください。 ・第22回は、吸引の演習です。ユニホームを着用してください。 テキスト「基礎看護技術Ⅱ」動画一覧 (P505) にある動画サイトなども活用し、手順を学習しておく。 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。				
成績評価の方法	筆記試験2回、提出課題の内容をもとに評価する。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 筆記試験、課題の合計点60点以上で合格。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護研究Ⅰ			
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態 講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)	
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有	
目的/概要	看護研究の意義や必要性を学び、研究方法の基礎を理解する。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護研究の意義を理解する。 2. 知識を活用するための文献検索、クリティークを学ぶ。 3. 研究の一連の過程を理解し、看護実践をケーススタディとしてまとめる。 			
授業計画	時期	授業内容		
	1	看護研究の意義、目的、種類		
	2	ケーススタディの意義		
	3	文献検索の方法 文献検索の実際（検索をする）		
	4	文献の整理（文献の要約）		
	5	文献のクリティーク		
	6	看護研究と倫理		
	7	筆記試験 / ケーススタディの進め方（研究計画書）		
	8	ケーススタディの実際（演習）①		
	9	ケーススタディの実際（演習）②		
	10	ケーススタディの実際（演習）③		
	11	ケーススタディの実際（演習）④		
	12	ケーススタディの実際（演習）⑤		
	13	ケーススタディの実際（演習）⑥		
14・15	ケーススタディ発表			
使用教材	テキスト：松本孚,森田夏実：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方.照林社 教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。			
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・第3回、第8回～13回は情報科学室を使用予定 ・第8回～13回はUSBを使用予定 			
成績評価の方法	<ol style="list-style-type: none"> ① 筆記試験（80点満点）+授業態度・課題の内容と提出状況（20点）=計100点満点 ② ケーススタディ 100点満点 <p>筆記試験（①）とケーススタディ（②）を合算。平均点が60点以上を合格とする。</p>			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護研究Ⅱ			
履修年次	3年次	履修学期	前期	授業形態 講義/演習
曜日・時限	月曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)	
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有	
目的/概要	研究プロセスを体験し、看護を科学的、論理的に探究する方法を学ぶ。			
到達目標	1.看護研究Ⅱの意義を理解する。 2.看護研究Ⅱをまとめ発表する。			
授業計画	時期	授業内容		
	1	看護研究Ⅱの進め方(1時間)		
	2	看護研究Ⅱの抄録集作成・発表準備		
	3	看護研究Ⅱの発表会①		
	4	看護研究Ⅱの発表会②		
	5	看護研究Ⅱの発表会③		
	6	看護研究Ⅱの発表会④		
	7	看護研究Ⅱの発表会⑤		
	8	看護研究Ⅱの発表会の発表会・まとめ		
使用教材	テキスト：松本孚,森田夏実：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方.照林社, 2012.			
履修上の注意	看護研究Ⅱの指導教員は、計画書の提出後に決定しお知らせします。			
成績評価の方法	ケーススタディ評価表で採点する。60点以上合格			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	基礎看護学実習Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	Ⅰ-1 前期 Ⅰ-2 後期	授業形態	実習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(45時間)		
担当教員	専任教員A	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員B		病院勤務経験有		
	専任教員C		病院勤務経験有		
	専任教員D		病院勤務経験有		
	専任教員E		病院勤務経験有		
	専任教員F		病院勤務経験有		
	専任教員G		病院勤務経験有		
目的/概要	基礎看護学で修得した知識・技術を基に、対象に応じた看護実践ができる能力を養う。				
到達目標	Ⅰ-1 1.療養環境を知る。 2.患者の入院生活の実際を知る。 3.看護活動の実際を知る。 Ⅰ-2 1.患者の日常生活行動を知る。 2.患者の状態に合わせた日常生活の援助を実施する。				
授業計画	時期	授業内容			
Ⅰ-1	2日間 (15時間)	実習施設：東北労災病院 全体でオリエンテーションを受け、グループに分かれ、病院見学・病棟での実習を行う。 1.病院全体のオリエンテーションを受ける(看護部長) 実習施設の概要と看護活動 2.病棟オリエンテーションを受ける(看護師長) 3.病棟内を見学する 4.病院内を見学する(専任教員) 5.看護活動の実際を見学する 6.患者に接し入院生活についてインタビューする 7.病棟での学びを発表する(病棟指導者・専任教員) 8.実習グループごとに、学びを話し合う(学内)。グループごとに発表する			
Ⅰ-2	4日間 (30時間)	実習施設：東北労災病院 グループに分かれそれぞれの病棟で実習する。 1.病棟オリエンテーションを受ける(看護師長) 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う。(実習指導者・専任教員) 1) 受け持ち患者のオリエンテーションを受ける。 2) 受け持ち患者の情報収集を行う 3) 看護援助を見学する。 4) 受け持ち患者へ看護を実施する 5) 実施した援助を評価する 3.グループで実習の学びを発表する(実習指導者・専任教員)			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	病棟の患者構成に合わせて、事前学習を行う。				
成績評価の方法	実習評価表Ⅰ-1・実習評価表Ⅰ-2の内容で評価する。 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等) 実習評価表Ⅰ-1(30点)・実習評価表Ⅰ-2(70点)を合計して基礎看護学実習Ⅰの評価とする。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	基礎看護学実習Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	実習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員A	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員B		病院勤務経験有		
	専任教員C		病院勤務経験有		
	専任教員D		病院勤務経験有		
	専任教員E		病院勤務経験有		
	専任教員F		病院勤務経験有		
	専任教員G		病院勤務経験有		
目的/概要	基礎看護学で修得した知識・技術を基に、対象に応じた看護実践ができる能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.日常生活の援助の必要性を判断できる。 2.日常生活の援助を決定し実施できる。 3.実施した援助を評価できる。 4.看護過程の展開ができる。 5.自己の看護観を深めることができる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	13日間 (90時間)	<p>実習施設：東北労災病院 グループに分かれ、各病棟で実習を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う。（実習指導者・専任教員） <ol style="list-style-type: none"> 1) 受け持ち患者のオリエンテーションを受ける。 2) 受け持ち患者の状態をアセスメントし、援助の必要性を判断する。 3) 受け持ち患者の看護問題を明確化し、看護計画を立案する。 4) 立案した看護計画に基づき、看護を実施する。 5) 実施した援助を評価する。 6) 指導者・教員から指導を受ける。 3.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 4.実習をふり返り、自分の看護を考える。 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	病棟の構成に合わせて、事前準備を行う。				
成績評価の方法	実習評価表Ⅱの内容で評価する。60点以上合格 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等)				

5. シラバス

(4) 専門分野II

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	成人看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	対象の特徴および成人看護の考え方を理解する。				
到達目標	1. 成長発達段階における成人期の位置づけを理解する。 2. 成人の成長発達の特徴を理解する。 3. 成人の生活を理解する視点と方法を理解する。 4. 成人の健康観の多様性に応じた看護の考え方を理解する。 5. 成人の学習の特徴を踏まえた看護の考え方を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 成長発達段階における成人期の位置づけ			
	2	2. 成人の成長発達の特徴①			
	3	成人の成長発達の特徴②			
	4	成人の成長発達の特徴③ (発表・まとめ)			
	5	3. 身体機能の特徴と看護 4. 成人の生活を理解する視点と方法			
	6	5. 成人の健康観の多様性に応じた看護の考え方			
	7	6. 成人の学習の特徴を踏まえた看護の考え方			
	8	筆記試験			
使用教材	・ナースング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 ・必要時、資料・文献を配布または紹介します。				
履修上の注意	・第2～4回のグループワークではUSBメモリーを使用します。 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。				
成績評価の方法	筆記試験と課題レポートで合計100点満点。60点以上合格。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 課題レポート 「成人（個人）の成長発達のアセスメントガイドに沿って、自己のアセスメントをする」				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人保健				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	副校長	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	成人期にある対象の健康の保持増進、疾病予防に必要な考え方を理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成人保健の動向・統計を理解する。 2. 成人期にある対象の健康障害と疾病予防の考え方を理解する。 3. セルフケア行動を促進するための理論と看護に活用する方法を理解する。 4. 危機理論の概念と看護に活用する方法を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	成人保健とは、成人保健に関わる統計・動向			
	2	職業に関する健康障害			
	3	生活習慣に関する健康障害			
	4	生活ストレスに関連する健康障害			
	5	セクシュアリティに関する健康障害			
	6	更年期にみられる健康障害			
	7	余暇活動に伴う健康障害			
	8	筆記試験①（45分）			
	9	成人への看護に有用な概念	1. 病みの軌跡	DVD「飲酒と健康」	
	10	2. セルフケア			
	11	3. 適応			
	12	4. 自己効力			
	13	5. ヘルスプロモーション	6. アドヒアランス		
	14	7. 変化ステージモデル	8. ストレス		
	15	9. 危機 *糖尿病患者の教育計画の立案			
	16	筆記試験②（45分）			
使用教材	テキスト：ナッシング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論（メディカ出版） ・国民衛生の動向 2021/2022 *必要時、資料を配布します。				
履修上の注意	第1回～8回：副校長、第9回～16回：専任教員 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。				
成績評価の方法	筆記試験①・②の評点を平均し、60点以上を合格とする。 合計が60点未満の場合、成人保健 全範囲での再試験となる。				

科目名	成人看護の方法Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(30時間)		
担当教員	麻酔科医師A	実務経験	病院勤務経験有		
	麻酔科医師B		病院勤務経験有		
	救急科医師		病院勤務経験有		
	専任教員A		なし		
	専任教員B		病院勤務経験有		
目的/概要	急性期、周手術期、およびがん看護に必要な知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手術を受ける患者の状況と看護師の役割を理解する。 2. 手術中に必要な看護を理解する。 3. 手術中の安全管理について学ぶ。 4. 麻酔や手術侵襲による生体反応を学ぶ。 5. 術後の苦痛緩和、術後合併症の早期発見と予防のための方法がわかる。 6. 術後機能障害と生活制限への援助の必要性がわかる。 7. 化学療法を受ける患者の特徴と看護を理解する。 8. 緩和ケアを受ける患者の特徴と看護を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1 麻酔B	麻酔法①			
	2 麻酔B	麻酔法②			
	3 麻酔A	周手術期の呼吸管理			
	4 麻酔A	周手術期の体液管理 輸液・輸血療法			
	5 救急	救急蘇生法①(演習)			
	6 救急	救急蘇生法②(演習)			
	7 教員A	1. 周手術期看護の概論		2. 手術前の患者の看護	
	8 教員A	3. 手術中の患者の看護			
	9 教員A	4. 麻酔や手術侵襲による生体反応			
	10 教員A	5. 術後の機能障害と生活の制限への援助			
	11 教員A	6. 手術後の患者の看護		手術室見学のまとめ	
	12 教員B	心理過程・コミュニケーション			
	13 教員B	化学療法をうける患者の看護			
	14 教員B	緩和ケア			
15	筆記試験				
使用教材	<p>テキスト：系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 系統看護学講座 別巻 がん看護学 周手術期看護 安全・安楽な看護の実践 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 医学書院</p> <p>文献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。</p>				
履修上の注意	テキスト「周手術期看護 安全・安楽な看護の実践」に付属しているDVDを視聴し、授業に出席する。				
成績評価の方法	<p>筆記試験で評価する 麻酔科医・救急医：合同筆記試験① 教員：合同筆記試験②(専任教員A：70点、専任教員B：30点)</p> <p>*①、②それぞれの試験で60点以下の場合は再試験を行う。 合同筆記試験①②の平均点を最終評価とする。 60点以上合格</p>				

科目名	成人看護の方法Ⅱ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有（呼吸器科病棟 看護師）		
	呼吸器疾患看護認定看護師		病院勤務経験有（呼吸器疾患看護認定 看護師）		
	専任教員		病院勤務経験有（循環器内科病棟 看護師）		
目的/概要	成人期にある対象の呼吸器疾患・循環器系疾患の系統別看護を学び、看護の展開に必要な基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 呼吸器疾患を持つ患者の特徴と看護の役割を理解する。 呼吸器機能障害が日常生活に及ぼす影響を理解する。 検査・処置・治療における看護の役割と援助の方法を学ぶ。 呼吸器疾患をもつ患者のアセスメントと援助の方法を学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 循環器疾患の身体的・心理的・社会的・特徴と看護の役割を理解する。 症状に対する看護を理解する。 検査・治療を受ける患者の看護を理解する。 疾患を持つ患者の看護を理解する。 循環器疾患をもつ患者のアセスメントと援助を学ぶ。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	<呼吸器> 医療の動向と看護、呼吸器疾患患者の概要（第1章） 疾病の経過と看護、症状に対する看護（第6章） 検査を受ける患者の看護			
	2	治療・処置を受ける患者の看護（吸入療法、酸素療法）			
	3	治療・処置を受ける患者の看護（人工呼吸器・気管切開、胸腔ドレナージ）			
	4	疾患を持つ患者の看護（肺炎（誤嚥性肺炎、市中肺炎）、結核、気管支喘息）			
	5	疾患を持つ患者の看護（自然気胸、肺血栓塞栓症、急性呼吸窮迫症候群（ARDS）、COPD）			
	6	疾患を持つ患者の看護（肺がん）/呼吸器外科領域の手術を受ける患者の看護			
	7 認定	体位ドレナージ・用手的呼吸介助（演習）			
	8	筆記試験① まとめ			
	9	<循環器> 1. 患者の身体的・心理的・社会的特徴と看護の役割。 2. 症状に対する看護 1) 胸痛 2) 動悸 3) 浮腫 4) 呼吸困難 5) チアノーゼ 6) 失神 7) 四肢の疼痛			
	10	3. 検査・治療を受ける患者の看護			
	11	1) 心臓カテーテル法・心血管造影検査 2) 心電図検査・運動負荷試験 3) 血行動態モニタリング 4) 動脈血ガス分析 5) 画像診断 6) 薬物療法 7) カテーテル治療 8) 手術 9) 心臓リハビリテーション 10) ベースメーカー装着			
	12	4. 疾患をもつ患者の看護			
	13	1) 心臓の疾患 ①虚血性心疾患 ②心不全 ③不整脈			
	14	2) 血管の疾患 ①動脈瘤 ②動脈閉塞性疾患 3) 高血圧			
	15	5. 循環器疾患患者の看護（グループワーク）			
16	5. 循環器疾患患者の看護（発表）				
	筆記試験②				
使用教材	<ol style="list-style-type: none"> 川村雅文ほか：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学② 呼吸器，医学書院，2021 坂本すが，井手尾千代美：完全版ビジュアル 臨床看護技術ガイド，照林社，2018. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学3 循環器 文献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。				
履修上の注意	呼吸器・第7回目の講義は、慢性呼吸器疾患看護認定看護師の講義・演習です。 演習時は動きやすい服装で、聴診器とバインダーを準備の上、講義・演習に臨んでください。 循環器の講義内容（循環器疾患の病態生理・症状・検査・治療について）を復習して講義に参加してください。 授業評価アンケートの協力をお願いします。				
成績評価の方法	呼吸器：筆記試験100点満点で評価する。 60点以上合格。 循環器：筆記試験②100点満点（授業態度、課題の内容・発表等も含む）で評価する。 60点以上合格。 呼吸器・循環器の評点がそれぞれ60点以上で合格とし、その平均点を最終評価とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	成人看護の方法Ⅲ			
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態 講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)	
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有	
	看護師		病院勤務経験有(皮膚排泄ケア認定看護師)	
	専任教員		なし	
	看護師		病院勤務経験有(糖尿病療養指導士)	
目的/概要	成人期にある対象の消化器疾患および内分泌・代謝疾患の特徴を理解し、患者の身体的・心理的・社会的問題に対する看護を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 消化器疾患患者の看護の展開に必要な知識と技術を習得する。 2. 内分泌・代謝疾患をもつ患者の身体的・心理的・社会的特徴を理解する。 3. 内分泌・代謝疾患をもつ患者の特徴を理解し、看護援助に必要な知識を習得する。 			
授業計画	時期	授業内容		
	1	医療の動向と看護の役割		
	2	消化器疾患の症状に対する看護①		
	3	消化器疾患の症状に対する看護②		
	4	消化器系の検査を受ける患者の看護		
	5	消化器疾患の治療を受ける患者の看護		
	6	疾患を持つ患者の看護① 事例による看護過程の展開		
	7	疾患を持つ患者の看護②		
	8	事例による看護過程のまとめ		
	9 認定	ストーマケア		
	10	筆記試験①		
	11	1.内分泌・代謝疾患をもつ患者の特徴 2.看護の役割 3.代謝疾患をもつ患者の看護 ①糖尿病		
	12指導士	糖尿病患者のフットケア(演習)		
	13	3.代謝疾患をもつ患者の看護 ②脂質異常症 ③肥満症 ④痛風・高尿酸血症 4.内分泌疾患をもつ患者の看護 甲状腺疾患をもつ患者の看護 ①パセドウ病		
	14	4.内分泌疾患をもつ患者の看護 ②甲状腺機能低下症 ③甲状腺切除術 5.紙上患者の看護計画立案		
	15	6.自己血糖測定(演習)・インスリン自己注射		
	16	筆記試験②		
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学[5] 消化器 病気がみえる① 消化器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学6 文献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。			
履修上の注意	・フットケアの演習時は、足を出せる服装で臨むようにしてください。 ・自己血糖測定、インスリン自己注射の演習時はユニフォームを着用し、バインダーを持参してください。 (実習時と同様に身だしなみを整える)			
成績評価の方法	消化器：筆記試験①(50%)、小テスト(20%)、課題の提出状況と内容(20%)及び平常点(10%：出席状況、授業態度等)を合算し、評価する。 60点以上合格 内分泌・代謝：筆記試験②で評価する。 60点以上合格 消化器と内分泌・代謝の評点を平均して最終評価とし、60点以上合格			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	成人看護の方法Ⅳ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員A	実務経験	なし		
	専任教員B		病院勤務経験有(整形外科病棟看護師)		
目的/概要	脳・神経疾患および運動器疾患の特徴を理解し、患者の身体的・心理的・社会的問題に対する看護を学ぶ。				
到達目標	1. 脳神経疾患患者の特徴を理解し、看護援助に必要な知識を習得する。 2. 運動器疾患患者の特徴を理解し、看護援助に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1 脳神経疾患患者の特徴と看護の役割 2 検査を受ける患者の看護			
	2	2 検査を受ける患者の看護			
	3	3 症状・障害をもつ患者の看護①			
	4	症状・障害をもつ患者の看護②			
	5	症状・障害をもつ患者の看護③			
	6	4 治療・処置を受ける患者の看護			
	7	5 疾患を持つ患者の看護			
	8	筆記試験①			
	9	運動器の構造と機能 フィジカルアセスメント 整形外科看護の役割			
	10	症状に対する看護①			
	11	症状に対する看護②(演習)			
	12	検査を受ける患者の看護 保存療法を受ける患者の看護			
	13	手術を受ける患者の看護 経過に応じた患者の看護			
	14	疾患をもつ患者の看護①			
	15	疾患をもつ患者の看護②			
16	筆記試験②				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ成人看護学⑦脳・神経 (医学書院) ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑦運動器 (メディカ出版)				
履修上の注意					
成績評価の方法	脳神経：筆記試験① 60点以上合格 運動器：筆記試験②・グループワーク・授業態度・課題内容・課題提出状況を総合的に評価する。 60点以上合格 脳神経の評点と運動器の評点を平均し最終評価とし、60点以上を合格とする。				

科目名	成人看護の方法V				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員A	実務経験	なし		
	看護師		病院勤務経験有 (皮膚排泄ケア認定看護師)		
	専任教員B		なし		
目的/概要	腎・泌尿器疾患および血液・造血管器疾患の特徴を理解し、看護の展開に必要な基礎的知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 腎・泌尿器の構造と機能について再学習する。 2. 腎・泌尿器疾患を持つ患者の特徴と看護の役割を理解する。 3. 腎・泌尿器疾患を持つ患者のアセスメントと援助の方法を学ぶ。 4. 検査・処置・治療における看護の役割と援助の方法を学ぶ。 5. 看護過程を展開するための考え方を養う。 6. 血液・造血管器疾患患者の看護の展開に必要な基礎的知識と技術を習得する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 腎・泌尿器疾患患者の特徴と看護の役割 2. 腎・泌尿器疾患看護に必要な基礎知識			
	2	症状に対する看護 1) 尿の異常 2) 排尿の異常 3) 浮腫・脱水 4) 高血圧 5) 尿失禁 6) 尿毒症 7) 疼痛			
	3	検査を受ける患者の看護 1) 尿検査、尿流動態検査 2) 腎機能検査 3) レントゲン検査 4) 内視鏡検査 5) 生検 (腎・膀胱・前立腺)			
	4	内科的治療を受ける患者の看護			
	5	内科的治療・透析療法を受ける患者の看護			
	6	泌尿器科的治療を受ける患者の看護①			
	7	泌尿器科的治療を受ける患者の看護② 看護過程の展開 (事例を通じたアセスメント)			
	8 認定	ウロストミー			
	9	看護過程のまとめ、筆記試験①			
	10	1. 血液・造血管器疾患患者の看護の特徴 2. 症状のある患者の看護 1) 貧血 2) 出血傾向			
	11	2. 症状のある患者の看護 3) 易感染状態 *リーフレット作成			
	12	3. 検査・治療を受ける患者の看護 1) 血液検査 2) 骨髄検査・生検 3) 輸血 4) 化学療法 5) 造血幹移植			
	13	4. 疾患をもつ患者の看護 1) 白血病 2) 悪性リンパ腫			
	14	5. 紙上患者の看護計画の立案			
15	筆記試験② まとめ				
使用教材	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大東 貴志ほか：系統看護学講座 専門分野II 成人看護学⑧腎・泌尿器, 医学書院, 2021. 2. 道又元裕ほか：見てわかる腎・泌尿器ケア 看護手順疾患ガイド, 照林社, 2015. 3. 阿部俊子：改訂版 病態関連図がかける観察・アセスメントガイド, 照林社, 2009. 4. 小田正枝：症状別アセスメント・看護計画ガイド, 照林社, 2008. 5. 系統看護学講座 専門分野II 成人看護学4 血液・造血管器 医学書院 				
履修上の注意	第1回～7回：腎泌尿器 第10回～15回：血液				
成績評価の方法	<p>腎・泌尿器：筆記試験① 80点満点+課題提出状況+内容と授業態度20点=100点で評価する。 血液・造血管器：筆記試験② (70点) 課題レポート (30点) で評価する。 *腎泌尿器、血液・造血管器それぞれで60点以下の場合は再試験を実施する。</p> <p>腎・泌尿器の評点と血液・造血管器の評点を平均して最終評価とする。 60点以上合格</p>				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	勤労者医療概論				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	産業医	実務経験	病院勤務有		
	副校長*		病院勤務有		
目的/概要	勤労者の健康と福祉について社会の発展の経緯・勤労者の健康対策機関の役割機能の側面から理解する。				
到達目標	1. 勤労者の看護過程の展開を理解する。 2. 勤労者看護の実際を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	労働衛生の歴史			
	2	労働衛生行政			
	3	労働者健康安全機構と労災病院の役割			
	4	労働衛生の現状			
	5	勤労者看護と総括			
	6* 高野	1. 勤労者看護の実際Ⅰ 職業性疾病と作業関連疾患患者の看護 勤労者看護実践の方法とがん患者の就労支援			
	7* 高野	1. 勤労者看護の実際Ⅱ 勤労者看護の具体的事例展開			
8	筆記試験試験				
使用教材	テキスト：労働衛生のしおり 厚生労働省労働基準局 勤労者医療概論 労働者健康安全機構				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	メンタルヘルスマネジメント				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/実習
曜日・時限	水曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	産業 カウンセラー	実務経験	カウンセラー経験有		
	医療心理士*		カウンセラー経験有		
目的/概要	精神的健康を保つ為のさまざまな知識やスキルを学ぶことにより、自身のメンタルヘルスを安定させ、公私共に"やられずに"生き、就労する事を目指す。				
到達目標	メンタルヘルスの概念を理解し、 1) ストレス社会における勤労者の心の健康を支えるための方法を学ぶ 2) 1)を実践する為に、自らのメンタルヘルスを良好に保つ為の知識・スキルを習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1 *	心理学や人間関係論との関係性			
	2 *	労働災害・過労死の統計的事実			
	3 *	自己と自我、1対1、1対多の人間関係			
	4	対人認知、ステレオタイプ、ハロー効果、中心特性			
	5	心的報酬と職業満足度、同調と服従、適切な距離			
	6	偏見と差別、許容と受容の違い、排他的思考			
	7	休職にかかわる企業の損失			
	8	安全配慮義務、自死、EAP(従業員支援プログラム)			
	9	セルフケアの重要性 厚生労働省の指針 心の健康づくり4つのケア			
	10	ストレスとは ストレスとストレッサー、ユートレスとディストレス			
	11	ストレスマネジメントⅠ(レジリエンス・リフレーミング)			
	12	ストレスマネジメントⅡ(コーピングレパートリー・マインドフルネス)			
	13	積極的傾聴技法 演習			
	14	筆記試験(1時間)			
15	会社見学(産業看護師の現場)(3時間)				
使用教材	教科書: プリント				
履修上の注意	労災・過労死等のニュースや関連法案について、折に触れて目を配り知識の習得に努めること。				
成績評価の方法	理解度を確認する終筆記(選択・記述式)試験(2名合同)により評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護学概論			
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態 講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)	
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験あり（婦人科病棟）	
目的／概要	老年看護の対象の特徴および看護の役割を理解する。			
到達目標	1.老年期の特徴を理解する。 2.老年看護の役割を理解する。			
授業計画	時期	授業内容		
	1	「老いる」ということ		
	2	高齢者の発達課題 加齢現象		
	3	加齢に伴う変化の特徴 身体的機能の加齢変化「呼吸・循環」		
	4	身体的機能の加齢変化「消化・腎・排泄・内分泌」		
	5	身体的機能の加齢変化「感覚・運動・神経」		
	6	老年看護の成り立ち、役割、理念・概念の活用		
	7	高齢者の権利擁護		
	8	筆記試験		
使用教材	・テキスト：系統看護学講座 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 老年看護学 病態・疾患論 医学書院 国民衛生の動向			
履修上の注意	特になし			
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	老年保健				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有 (整形外科病棟看護師)		
目的/概要	1.高齢社会における現状と動向を基に、老年看護学のために必要な知識を理解する。 2.健康障害の現状と動向を知り、健康の保持増進と疾病予防について理解する。				
到達目標	1.超高齢社会の現状を統計から理解する 2.高齢社会における保健医療福祉の動向を理解し、看護援助に必要な知識を習得する 3.高齢社会の現状から老年看護の役割・意義を認める				
授業計画	時期	授業内容			
	1	超高齢社会の統計的輪郭 ・超高齢社会の現況 ・高齢者と家族 ・高齢者の健康状態 ・高齢者の死亡 ・高齢者の暮らし			
	2	高齢社会における保健医療福祉の動向 ・高齢者にかかわる保健医療福祉システムの構築① 生活・療養における看護 ・高齢者とヘルスプロモーション			
	3	高齢社会における保健医療福祉の動向 ・高齢者にかかわる保健医療福祉システムの構築②			
	4	高齢者の権利擁護 ・高齢者に対するスティグマと差別 ・高齢者虐待 生活・療養における看護 ・治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護			
	5	高齢者の権利擁護 ・身体拘束 ・権利擁護のための制度			
	6	高齢社会における保健医療福祉の動向 ・高齢者を支える多職種連携と看護活動 生活・療養における看護 ・多職種連携実践による活動 仙台市台原老人福祉センター見学/エンターション			
	7	筆記試験 (1時間)			
	8	仙台市台原老人福祉センター・台原デイサービスセンター見学			
使用教材	北川公子著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学，医学書院，2021				
履修上の注意	上記教科書の第2・9・10章の内容を行う。 参考文献については、授業の中で提示していく。				
成績評価の方法	筆記試験・グループワーク・授業態度・課題内容・課題提出状況を総合的に評価、60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	老年看護の方法 I				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有 (呼吸器内科・整形外科病棟勤務)		
	歯科衛生士*		病院勤務経験有		
目的/概要	1.高齢社会における現状と動向を基に、老年看護学のために必要な知識を理解する。 2.健康障害の現状と動向を知り、健康の保持増進と疾病予防について理解する。				
到達目標	1.超高齢社会の現状を統計から理解する 2.高齢社会における保健医療福祉の動向を理解し、看護援助に必要な知識を習得する 3.高齢社会の現状から老年看護の役割・意義を認める				
授業計画	時期	授業内容			
	1	第4章 高齢者のアセスメント A) 身体に加齢変化とアセスメント			
	2・3	老年体験 第6章 A) 症候のアセスメントと看護 (グループワーク)			
	4	A) 症候のアセスメントと看護 (まとめ・発表)			
	5	第5章 高齢者の生活機能を整える看護 A) 日常生活を支える基本的活動 ①ADL、姿勢、移動・移乗			
	6	A) 日常生活を支える基本的活動 アセスメントと看護 (②転倒③廃用症候群)			
	7	B) 食事・食生活 食生活、摂食・嚥下機能のアセスメント			
	8	E) 睡眠 高齢者と睡眠、生活リズムを整える看護			
	9	F) コミュニケーション コミュニケーション障害のアセスメントと看護			
	10	C) 排泄 おむつを用いた陰部洗浄・おむつ交換			
	11	D) 清潔 身体的障害のある高齢者の入浴・シャワー浴			
	12	D) 清潔 身体的障害のある高齢者の全身清拭とシーツ交換			
	13・14 *	口腔ケア・演習			
	15	筆記試験、まとめ			
使用教材	テキスト：北川公子ほか：系統看護学講座 専門分野II 老年看護学，医学書院，2021.				
履修上の注意	・口腔ケアについての講義4時間（講義2回）は歯科衛生士の講師が担当し、演習を行います。 ・演習時はクリップファイルを持参してください。 ・演習時は原則ユニフォーム着用にて行うので、指示があった場合には身なりを整えて臨むこと。				
成績評価の方法	筆記試験：80点満点+授業態度・課題提出状況：20点満点=計100点満点 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	老年看護の方法Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有(整形外科病棟看護師)		
	認知症看護認定看護師*		病院勤務経験有		
目的/概要	高齢者の健康障害の特徴と主な疾病や治療に対する援助の方法を学ぶ				
到達目標	高齢者の健康障害の特徴を理解し、看護援助に必要な知識・技術を習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	治療を必要とする高齢者の看護①			
	2	身体疾患のある高齢者の看護①			
	3	治療を必要とする高齢者の看護②			
	4	身体疾患のある高齢者の看護②			
	5	* 認知症看護①			
	6	生活・療養の場における看護			
	7	* 認知症看護②			
	8	高齢者のリスクマネジメント①			
	9	高齢者のリスクマネジメント②			
	10	* 認知症看護③			
	11	事例による看護過程展開 (グループワーク)			
	12	技術演習：輸液ライン装着中の寝衣交換(演習)			
	13				
	14	事例による看護過程展開 <発表>			
15	筆記試験(45分) 看護過程の振り返り(45分)				
使用教材	北川公子ほか：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院, 2021 鳥羽研二著：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論, 医学書院, 2021				
履修上の注意	参考図書・参考文献については、授業の中で提示していく。				
成績評価の方法	筆記試験・グループワーク・授業態度を総合的に評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	小児看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有(新生児集中ケア室 助産師)		
目的/概要	小児看護の特徴と小児看護の役割を学ぶ。				
到達目標	成長発達段階における子どもの特徴を理解し、小児看護の特徴と看護の役割を理亮する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	小児各期の成長・発達 1) 成長・発達とは 2) 成長・発達の評価			
	2	小児各期の身体発育 1) 形態的特徴 2) 身体生理的特徴・反射			
	3	小児各期の機能的発達 1) 感覚・運動機能 2) 知的・コミュニケーション機能 3) 情緒・社会的機能			
	4	基本的生活習慣の獲得 1) 食事と栄養 2) 排泄 3) 睡眠 4) 衣服と着脱 5) 清潔行動			
	5	小児各期の養育および看護 1) 遊びと学習への支援 2) 事故防止			
	6	子どもの成長発達に合わせた看護			
	7	小児看護の特徴と理念 1) 小児看護の対象、目標と役割 2) 小児看護の変遷 3) 小児看護における倫理、課題 子どもを取り巻く環境と健康問題に対する看護			
	8	筆記試験(1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論 参考書：看護のための人間発達学[第5版] 医学書院				
履修上の注意	課題は4つ(個人ワーク2つとグループワーク2つ)。 それぞれ期限内に提出できない時は、内容を問わず0点とする。				
成績評価の方法	課題40点(10点×4)、筆記試験60点の合計100点で行い、60点以上が合格。 平常点と提出物未提出、欠席等で減点あり。				

科目名	小児保健				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日・1時限	単位時間数	1 単位(30時間)		
担当教員	臨床発達心理士	実務経験	保育所業務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有 (新生児集中ケア室 助産師)		
目的/概要	小児と家族の特徴を理解し、成長発達を促し健康を守るために必要な知識を学ぶ。				
到達目標	小児保健の意義及び社会の動向と課題を知り、健康の保持増進と疾病予防及び社会資源の活用について理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	小児看護の特徴と理念 ①小児看護の目指すところ ②小児と家族の諸統計 ③小児看護の変遷 ④小児看護における倫理 ⑤小児看護の課題			
	2	子どもの栄養 ①子どもにとっての栄養の意義 ②子どもと食育 ③食事摂取基準 ④発達段階別の子どもの栄養の特徴と看護			
	3	人間発達理論を理解することを講義 6つの理論 ①理論の構造に焦点をあてた定義 ②理論の目的に焦点を当てた定義 ③理論の仮定性に焦点を当てた定義 ④研究に焦点を当てた定義 ⑤研究と実践における理論の活用と概念に焦点をあてた定義 ⑥看護の現象に焦点をあてた定義			
	4	胎児期、乳幼児期の心と身体の変化について講義 ①胎児期のこころと形態、機能の身体の変化と特徴 ②乳幼児期のこころと形態、機能の身体の変化と特徴 ③新生児、乳児の事故防止・感染防止			
	5	学童期の心と身体の変化について講義 ①学童期のこころと形態、機能の身体の変化と特徴 ②子どもの虐待の現状と対策の経緯 ③子どもの虐待 ④リスク要因と発生予防・早期発見 ⑤虐待の特徴と求められるケア			
	6	家族の特徴とアセスメント 1.子どもにとっての家族 ①家族とは ②現代家族の特徴 2.家族アセスメント ①子どもをもつ家族のアセスメントの留意点 ②子どもを持つ家族のアセスメントの目的 ③家族アセスメントの家族にとっての意味			
	7	子どもと家族を取り巻く社会 ①児童福祉 ②母子保健 ③医療費の支援 ④予防接種 ⑤学校保健 ⑥特別支援教育 ⑦臓器移植			
	8	筆記試験① (1時間)			
	9	小児と家族の諸統計			
	10	小児と家族を取り巻く社会			
	11	1) 小児をめぐる法律と政策 2) 学校保健			
	12	3) 予防接種 4) 病児教育 5) 保育所			
	13	家族の特徴とアセスメント 1) 子供にとっての家族 2) 家族アセスメント			
	14	事故・外傷と看護 (各論) 1) 小児の事故の特徴と要因 2) 主な事故・外傷と看護			
	15	小児の虐待と看護			
	16	筆記試験② (1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学1 小児看護学概論・小児臨床看護総論 系統看護学講座 小児看護学2 小児看護学各論 参考書：看護のための人間発達学(第5版) 国民衛生の動向				
履修上の注意	第1回～8回 臨床発達心理士 第9回～16回 看護師：それぞれ期限内にレポートの提出をできない時は、内容を問わず0点とする。				
成績評価の方法	第1回～8回：授業態度、テストなどで総合評価する。 第9回～16回：平常点：欠席、提出物の遅れ、授業態度により減点 (10点) グループワークのレポート：グループ毎に内容と発表により評価 (10点) 筆記試験 (80点) を合計・評価する。60点以上合格 筆記試験①・②の評価を平均し、最終評価とする。				

科目名	小児疾病論				
履修年次	2年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日・4時限	単位時間数	1 単位(30時間)		
担当教員	小児科医師A	実務経験	病院勤務経験有		
	小児科医師B		病院勤務経験有		
	小児科医師C		病院勤務経験有		
	小児科医師D		病院勤務経験有		
	小児科医師E		病院勤務経験有		
目的/概要	小児に出現しやすい疾病・症状・治療について学ぶ。				
到達目標	小児の疾病の特徴を理解し、各疾患の病態・症状・診断・治療について学び、看護の根拠を考えることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	.A	小児の腎・泌尿器疾患		
	2	C	呼吸器感染症		
	3	B	内分泌疾患総論		
	4	.A	小児の先天異常・胎芽病・胎児病・事故・熱中症		
	5	C	新生児		
	6	B	代謝疾患		
	7	E	循環器疾患①		
	8	B	悪性新生物・血液腫瘍・固形腫瘍・肉腫・脳腫瘍		
	9	E	循環器疾患②		
	10	C	感染症		
	11	B	血液・造血器疾患		
	12	D	アレルギー疾患		
	13	C	消化器疾患		
	14	D	発達関連 発達障害・チック・不登校・虐待		
	15	.A	神経疾患・筋疾患		
	16		筆記試験 (1時間)		
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護臨床看護各論 系統看護学講座 小児看護学2 小児看護学各論 参考書：看護のための人間発達学(第5版) 国民衛生の動向				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験 (5名合同) で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	小児看護の方法				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有 (新生児集中ケア室 助産師)		
目的/概要	対象に応じた小児看護を実践するために必要な知識を学ぶ。				
到達目標	健康障害と成長発達に応じた小児看護を実践するために必要な知識・技術を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	疾病・障害をもつ小児と家族の看護			
	2	障害のある小児の看護			
	3	小児のフィジカルアセスメント			
	4	アセスメントの実際①			
	5	アセスメントの実際②			
	6	小児の状況の特徴づけられる看護 (入院・外来・在宅・災害の看護) 事例提示			
	7	疾病の経過と看護 (慢性期・急性期・周術期・終末期)			
	8	検査・処置を受ける小児の看護①	事例提出		
	9	検査・処置を受ける小児の看護②			
	10	症状に対する看護①	看護計画提出		
	11	症状に対する看護②			
	12	子どもの安全を守る看護			
	13	事例発表			
	14	検査・処置を受ける小児の看護③ (抗生剤溶解・演習)			
15	筆記試験 まとめ				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論 ：系統看護学講座 小児看護学[2] 小児看護学各論 参考書：看護のための人間発達学[第4版] 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験80点+課題20点(個人課題10点+グループワーク10点)合計100満点 平常点(授業態度、欠席時間、教科書忘れ、提出期限遅れ等)で減点あり。 課題を期限内に提出できない時は、内容問わず0点。60点以上で合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	母性看護学概論・保健				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	木曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有(産婦人科病棟助産師)		
目的/概要	母性とは何かを幅広く考え、母性の様々な定義を理解し母性看護における対象者、看護の目的を理解する。				
到達目標	母性看護の対象を理解し、生命倫理・母性に関する法律や制度について学び、母性看護の役割を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	I 母性看護の基盤となる概念 1. 母性とは 2. 母子関係と家族発達			
	2	3. セクシャリティ 4. リプロダクティブヘルス・ライツ 5. ヘルスプロモーション			
	3	II 母性看護の対象とその理解 1. 母性の発達・成熟・継承 2. ライフサイクルにおける形態・機能の変化			
	4	III 母性看護を取り巻く社会の変遷と現状			
	5	IV 母子保健統計			
	6	V 母性看護に関する組織と法律			
	7	VI ライフサイクルにおける女性の健康と看護 1. 思春期の健康と看護			
	8	2. 成熟期の健康と看護			
	9	3. 更年期の健康と看護			
	10	4. 老年期の健康と看護			
	10	VII 母性看護に必要な看護技術			
	11	VIII リプロダクティブヘルスケア 1) 喫煙 2) 感染症 3) 家族計画			
	12	4) 人工妊娠中絶 5) DV			
	13	IX 母性と生命倫理			
14	課題発表会				
15	試験・まとめ				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学1 母性看護学概論 参考文献：国民衛生の動向 * 必要時、資料を配布する。				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	学科試験(筆記試験)、授業参加、レポート等の提出状況を併せた総合評価 筆記試験：80点% 授業参加・レポート等提出状況：20% 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2020年度 授業計画 (シラバス)

科目名	母性看護の方法Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	助産師	実務経験	病院勤務経験有(産科病棟助産師)		
目的/概要	妊娠・分娩期における経過と看護を学ぶ。				
到達目標	周産期にある女性(産褥期を除く)家族・胎児の特徴を理解し、必要とされる看護援助についてその根拠を考えることができ、技術を習得することができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	月経について・ホルモン動態の復習 妊娠の成立			
	2	胎児の成長と母体の変化			
	3	妊婦と胎児のアセスメント			
	4	妊娠期の看護			
	5				
	6	妊娠期のまとめ(小テスト)			
	7	分娩とは			
	8	分娩の経過と胎児の健康状態			
	9	分娩期のアセスメント			
	10	産婦と家族の看護			
	11	分娩期のまとめ(小テスト)			
	12	妊娠期の異常①			
	13	妊娠期の異常②			
	14	異常分娩①			
15	異常分娩② 筆記試験				
使用教材	テキスト: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 病気がみえる VOL.10 産科				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	小テスト2回 筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	母性看護の方法Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	木曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	助産師A	実務経験	病院勤務経験有（産科病棟助産師）		
	助産師B		病院勤務経験有（産科病棟助産師）		
	専任教員		病院勤務経験有（産婦人科病棟助産師）		
目的/概要	産褥期における経過と看護、新生児の看護について学ぶ。				
到達目標	産褥期にある女性と家族、新生児の特徴を理解し、必要とされる看護援助についてその根拠を考えることができ、技術を習得することができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	産褥期の女性の身体的変化			
	2				
	3	産褥期にある女性の心的特徴			
	4	産褥期のアセスメントと看護ケア			
	5	産褥期のアセスメントと母乳栄養			
	6	産褥期のアセスメントと新生児の世話			
	7	産褥期のアセスメントと退院後の生活			
	8	まとめ 筆記試験①（1時間）			
	9	新生児とは			
	10	新生児の生理 体外生活への適応			
	11	新生児出生直後のケアと健康診査			
	12	新生児のケア			
	13	ハイリスク新生児のケア			
	14	低出生体重児のケア（早産児を含む）			
	15	筆記試験②（1時間）			
	16 専任	沐浴・新生児のバイタルサイン測定（演習）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 病気がみえる VOL.10 産科				
履修上の注意	第1回～8回 助産師A 第9回～15回 助産師B 第16回 助産師C				
成績評価の方法	筆記試験①・②の平均点で評価する。60点以上合格 *不合格の場合は、①・②の範囲で再試験を行う。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	母性看護の方法Ⅲ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・4時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	婦人科医師	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有 (産婦人科病棟助産師)		
目的/概要	女性のライフサイクル各期の健康障害、疾病の成り立ち、診断、治療、看護について学ぶ。				
到達目標	女性生殖器疾患の症状・検査・診断・治療について学び看護の根拠を考えることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	女性生殖器疾患の機能 機能的疾患			
	2	不妊症と不育症			
	3	子宮の良性疾患と悪性腫瘍			
	4	卵巣・卵管・乳腺の良性腫瘍と悪性腫瘍 STD			
	5	Ⅰ.看護の対象の理解 Ⅱ.生殖器の構造 Ⅲ.月経周期とホルモン Ⅳ.患者の看護 外来・病棟の看護、診察介助			
	6	Ⅳ.患者の看護 症状・病態に対する看護			
	7	Ⅳ.患者の看護 臓器別疾患・機能的疾患の看護			
	8	筆記試験 (1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 病気がみえる VOL.10 産科				
履修上の注意	第1回～4回 医師 第5回～7回 専任教員				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2020年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神看護学概論				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	なし		
目的/概要	精神看護の特徴と、看護の目的を学ぶ。				
到達目標	精神看護の目的と対象、看護の役割を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	心のケアと現代社会、精神医療の動向			
	2	精神看護学の課題、基本的考え方			
	3	精神障害の法律的定義			
	4	精神保健医療福祉の法制度			
	5	精神障害と医療の歴史・変遷			
	6	精神障害と文化・社会学			
	7	医療の場におけるメンタルヘルスと看護（テキスト：精神看護学[2]）			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験（90点満点）および平常点（10点満点：出席状況、授業態度等）を合算し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神保健				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	臨床心理士		
	専任教員	実務経験	なし		
目的/概要	精神の機能と発達、精神の健康の保持増進と疾病予防のための方法を学ぶ。				
到達目標	看護師として体験しうる精神力動の一端を理解する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	陽性転移と陰性転移について			
	2	逆転移について			
	3	退行について			
	4	こころのコンテイナー機能について			
	5	良い対象と悪い対象について			
	6	抱えることについて			
	7	イネイプラーと家族ホメオスタシスについて			
	8	筆記試験① (1時間)			
	9	精神保健の考え方、精神の健康			
	10	ストレスと危機・心的外傷が及ぼす影響と回復			
	11	地域における精神保健と精神看護①			
	12	地域における精神保健と精神看護②			
	13	精神の健康の保持増進に係る政策①			
	14	精神の健康の保持増進に係る政策②			
	15	看護職の精神保健 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス			
16	筆記試験② (1時間)				
使用教材	テキスト 臨床心理士：大切な人が死ぬとき 竹書房 こころのナース夜野さん 小学館 看護師：1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1]精神看護の基礎 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2]精神看護の展開				
履修上の注意	課題は期日までに提出されたものを採点する。				
成績評価の方法	宇佐美：1～7回講義担当 授業内レポートおよび筆記試験①によって評価する。 緑川：9～15回講義担当 課題の提出状況、平常点、筆記試験②を合わせて100点満点とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神疾病論				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	心療内科医師	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	精神の障害とは何か、ストレスおよび精神の健康における危機とは何かを理解する。				
到達目標	精神障害の診断と治療について理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	統合失調症			
	2	気分障害			
	3	神経症性障害・ストレス関連障害①			
	4	神経症性障害・ストレス関連障害②			
	5	パーソナリティ障害・睡眠障害			
	6	認知症			
	7	摂食障害			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神看護の方法			
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態 講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)	
担当教員	専任教員	経験年数	なし	
	看護師		病院勤務経験有 (精神科病棟看護師)	
目的/概要	精神に障害がある対象の看護の展開に必要な知識と技術を習得する。			
到達目標	地域・学校・職場など生活の場における精神の健康の保持増進と疾病予防のための方法について学ぶ。			
授業計画	時期	授業内容		
	1	ケアの人間関係① 関係のアセスメント→プロセスレコードの検討ー		
	2	ケアの人間関係② ケアの原則・方法		
	3	精神看護に活用される看護理論		
	4	紙上事例の看護過程① (グループワーク) 情報収集とストレングス・機能障害・能力障害		
	5	紙上事例の看護過程② (グループワーク) 普遍的セルフケアのアセスメント		
	6	紙上事例の看護過程③ (グループワーク) 看護計画の立案		
	7	紙上事例の看護過程④ 看護過程まとめ		
	8	筆記試験① (1時間)		
	9	精神に障害のある対象の理解と看護師の役割		
	10	回復を助ける リハビリテーション・プログラム等		
	11	回復を助ける 入院治療の目的と意味 治療的環境をつくる		
	12	安全を守る 行動制限における看護 精神科における事故		
	13	身体をケアする 薬物療法における看護 身体合併症について		
	14	症状マネジメント 抑うつ・躁・幻覚・妄想・脅迫・無為・自閉・拒絶		
	15	地域における精神保健と精神看護		
	16	筆記試験② (1時間)		
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1]精神看護の基礎 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2]精神看護の展開 3. 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術			
履修上の注意	課題は期日までに提出されたものを採点する。			
成績評価の方法	専任教員：1～7回講義担当 課題の提出状況、平常点、筆記試験①を合わせて100点満点とする。 看護師：8～14回講義担当 筆記試験②で評価する。 専任教員・看護師の評点を平均して精神看護の方法の評価とする。60点以上合格 * 不合格の場合は全範囲で再試験 (1時間) を実施する。			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	成人看護学実習Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	実習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有		
目的/概要	手術療法を受ける成人期の患者および家族を理解し、回復を促進するための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手術療法を受ける成人期の患者と家族を理解する。 2. 手術を安全に受けられるための援助の方法を理解する。 3. 手術を受けた患者に必要な看護の展開ができる。 4. 退院に向けた援助について理解する。 5. 周手術期のチーム医療における看護師の役割を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	2月	<p>実習施設：東北労災病院 (5西病棟 泌尿器科病棟・7東病棟 消化器外科病棟) 成人期の周手術期患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける (看護師長) 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う (実習指導者・専任教員) 3.手術療法を受ける患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像の把握 2) 家族の理解 4.手術を安全に受けるための援助を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術侵襲・術後合併症の理解 2) 手術についての理解 3) 患者の心理面の理解と援助 4) 全身状態を整える援助 5) 手術に向けての援助 6) 家族への配慮 5.手術を見学する 6.手術後の患者の看護を実施する <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術後の患者のアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施・評価 7.退院に向けた援助を行う 8.周手術期におけるチーム医療を理解する 9.テーマカンファレンスを行い、学びを深める 9.グループで実習の学びを発表する (実習指導者・専任教員) 10.実習をふり返り、成人期の周手術期の看護を考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人看護学実習Ⅰの評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等)				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人看護学実習Ⅱ				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有		
目的／概要	生涯にわたり疾病のコントロールが必要な患者および家族について理解し、社会生活を継続するための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病のコントロールが必要な患者および家族が理解できる。 2. 疾病のコントロールが必要な患者の看護が展開できる。 3. 患者がその人らしい生活をするためのセルフケア支援の方法を考え、実施できる。 4. 継続看護の重要性を理解する。 5. 多職種との協働・協働について理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（4東病棟 糖尿病代謝内科病棟） 成人期の疾病コントロールに必要な患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.疾病コントロールが必要な患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像の把握 2) 家族の理解 4.疾病コントロールが必要な患者の援助を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者のアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施・評価 5.集団指導場面の見学・実施をする 6.退院指導を見学する 7.多職種による各種指導・相談を見学する 8.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 9.実習をふり返り、成人期の疾病コントロールの看護について考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人看護学実習Ⅱの評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等)				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	成人看護学実習Ⅲ				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有		
目的/概要	終末期にある患者および家族を全人的に理解し、苦痛の緩和と QOL 向上のための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期にある患者と家族が抱える全人的苦痛を理解する。 2. 患者のQOLについて考え、その人らしさを理解する。 3. 患者の苦痛を緩和しQOL向上を目指した看護を展開する。 4. 終末期のチーム医療における看護師の役割を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
		<p>実習施設：東北労災病院（8階病棟） 成人期の終末期の患者を受け持つ。</p> <p>1.学内実習〔実習初日：7.5時間〕（専任教員）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 全人的苦痛（身体的・精神的・社会的・霊的）を理解する 2) 緩和ケアについて理解する 3) コミュニケーションに関するテーマカンファレンスの実施 <p>2.病棟実習〔82.5時間〕</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2) 受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 3) 終末期にある患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> (1) 患者の全体像の把握 (2) 終末期の特徴 (3) 家族の理解 4) 心身の苦痛を緩和するための援助を行う <ol style="list-style-type: none"> (1) 患者のアセスメントと看護問題の抽出 (2) 看護計画の立案・実施・評価 5) 患者のQOLを理解する 6) 関係する職種と医療チームとしての看護の役割を理解する 7) テーマカンファレンスを行い、学びを深める 8) グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 9) 実習をふり返り、終末期の看護を考える 			
使用教材	<p>学内実習：DVD</p> <p>はじめてのがん看護 がんサバイバーへの支援 ⑦ がん緩和ケア 丸善出版</p> <p>はじめてのがん看護 がんサバイバーへの支援 ⑧ がん看護におけるコミュニケーション 丸善出版</p> <p>看護実践のためのがん看護 Vol.2 身体症状のアセスメントと看護援助</p> <p>看護実践のためのがん看護 Vol.3 精神症状のアセスメントと看護援助</p> <p>実習に必要な教科書・参考書を持参する。</p>				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人看護学実習Ⅲの評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等)				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護学実習Ⅰ				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有（呼吸器科病棟看護師）		
目的／概要	高齢で慢性期にある対象を理解し、加齢と健康レベルに応じた日常生活援助ができる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う身体的・精神的・社会的変化が理解できる。 2. 高齢者の健康障害の特徴を理解し、看護過程が展開できる。 3. 高齢者の残存機能を生かした日常生活援助が実施できる。 4. 高齢者の人生観を尊重した関わりができる。 5. 多職種連携および継続看護の必要性について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（6東：循環器科・呼吸器科病棟／6西：呼吸器科病棟） 老年期の保存的療法を受ける患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.加齢に伴う身体的側面・精神的側面・社会的側面を理解する 4.健康障害の特徴を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 疾病及び症状の理解 2) 疾患及び治療が日常生活に及ぼす影響の理解 3) 合併症の予測と予防 4) 家族の抱える問題の理解と援助 5) 全体像の把握と看護問題の明確化 6) 看護計画の立案・実施・評価 5.残存機能を活かした援助を実施する 6.高齢者の特性をふまえた関わりを理解する 7.チームでの関わりと、継続看護を理解する 8.テーマカンファレンスを行い、学びを深める 9.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 10.実習をふり返り、老年期の看護を考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	老年看護学実習Ⅰの評価表の内容で評価し、60点以上を合格とする。 （実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等）				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護学実習Ⅱ				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有（整形外科病棟看護師）		
目的／概要	手術療法を受ける老年期の患者および家族を理解し、回復を促進するための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手術療法を受ける高齢者を理解できる。 2. 手術療法を受ける高齢者の特徴を理解し、看護過程の展開ができる。 3. 多職種連携および継続看護の必要性について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（3東・3西病棟 整形外科病棟） 老年期の手術療法を受ける患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名決定し、援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.手術療法を受ける高齢者の全体像を把握する 4.全身状態を整えるための援助を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術侵襲・術後合併症の理解 2) 全身状態のアセスメント 3) 手術前オリエンテーションの把握 4) 全身状態を整える援助 5) 手術に向けての援助 6) 家族への配慮 5.手術療法を受ける高齢者の特徴を理解し、看護を実施する <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術前～後の患者のアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施 3) 回復状況に合わせた看護計画の評価・修正 6.多職種連携と継続看護の必要性を理解する 7.テーマカンファレンスを行い、学びを深める 8.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 9.実習をふり返り、老年期の周手術期の看護を考える。 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	老年看護学実習Ⅱの評価表の内容で評価し、60点以上を合格とする。 （実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等）				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	小児看護学実習				
履修年次	2・3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有 (新生児集中治療室 助産師)		
目的/概要	小児の特徴とその家族を理解し、成長発達と健康の段階に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児各期の特徴を理解し、その成長発達を促すための援助ができる。 2. 健康を障害された小児と家族を理解し、健康と発達の各段階に応じた看護ができる。 3. 小児の健やかな成長発達を促す望ましい環境が理解できる。 4. 小児を取り巻く保健・医療・福祉および教育との連携を知り、小児看護の役割を理解できる。 5. 小児に与える影響を考え、誠実な態度で接することができる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	2年 保育所実習 (26時間)	保育所実習 (仙台市内の保育所で1～2名ずつ実習する) 1.各保育所でのオリエンテーションを受ける 2.乳幼児期の各クラスに入り、保育日課に沿って実習する。 1) 健康な乳幼児の成長発達を理解する 2) 基本的な生活習慣の自立に合わせた援助を学ぶ 3) 保育所の健康管理と安全管理を学ぶ 4) 遊びと成長発達について学ぶ 3.実習のまとめを行い学びを共有する 実習施設：宮城県立拓桃園・宮城県立拓桃支援学校 1.オリエンテーションを受け、施設の概要を知る 2.障害児の日常生活や学校生活の実際を見学する。 3.児童福祉法・障害者総合支援法についての理解を深める。			
	3年 病院実習 (60時間)	実習施設：東北労災病院 (7西病棟 小児科・耳鼻咽喉科・胃腸科病棟、小児科外来) 1.病棟オリエンテーションを受ける (看護師長) 2.受け持ち患児を1名受け持ち患者の援助を行う (実習指導者・専任教員) 1) 受け持ち患児の成長発達・疾病及び症状を理解する 2) 小児のバイタルサインの測定等を実施する 3) 小児の安全・感染防止対策を実施する 4) 家族の身体的・心理的状況を理解し、援助する 3.外来看護師の役割を学ぶ 4.グループで実習の学びを発表する (実習指導者・専任教員) 5.実習をふり返り、小児期の看護を考える。			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	保育所実習・施設見学実習：小児看護学実習評価表1 (30点) の内容で評価する。 (実習記録内容・レポート提出内容・出席状況等) 病院実習：小児看護学実習評価表2 (70点) の内容で評価する。 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等) 小児看護学実習評価表1、小児看護学実習評価表2の合計点を評価とする。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	母性看護学実習				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	病院勤務経験有 (産婦人科病棟 助産師)		
目的/概要	妊娠・分娩・産褥期における母性と新生児およびその家族を理解し、看護実践ができる基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊婦・産婦・褥婦および新生児の生理的な経過が理解できる。 2. 妊婦・産婦・褥婦および新生児とその家族への看護が理解できる。 3. 母子相互作用について理解できる。 4. 母子に必要な健康支援と社会制度について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：新富谷S・Sレディースクリニック (78時間：オリエンテーション3時間、学内カンファレンス15時間含む)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クリニックのオリエンテーションを受ける (看護師長・実習指導者) 2月に全体オリエンテーションを実施 2. 妊娠中の身体的・心理的・社会的変化を理解し、必要な看護を学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊婦健診の見学 2) 保健指導の見学 (個人・集団) 3) 社会資源の活用の実際 3. 分娩経過を見学し必要な看護を理解する 4. 褥婦を1名受け持ち、褥婦の援助を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 褥婦の情報収集を行い正常経過を理解する 2) 看護計画を立案し、実施する 3) 産褥期の保健指導を見学する 4) 母親役割行動を理解する 5. 受け持ち褥婦の新生児の看護を実施する <ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児を観察し、生理的変化を理解する 2) 生後日数に応じた看護を見学・実施する 6. 家族への看護を見学する <p>実習施設：とも子助産院 (12時間)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産院のオリエンテーションを受け施設の概要を知る (助産院指導者) 2. 助産院の予定に合わせて実習し、地域での妊産褥婦の生活状況を知る <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊婦健診の見学 2) 保健指導の見学 3) サークル活動への参加 <p>グループで実習の学びを発表する (実習指導者・専任教員) 実習をふり返り、母性看護について考える。</p>			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	母性看護学実習評価表の内容で評価する。 60点以上合格 (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等)				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2020年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神看護学実習				
履修年次	3年次	履修学期	前期	授業形態	実習
曜日・時限	月～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員A	経験年数	病院勤務経験有		
	専任教員B		病院勤務経験有		
	専任教員C		病院勤務経験有		
	専任教員D		病院勤務経験有		
	専任教員E		病院勤務経験有		
目的/概要	精神に障害のある対象とその家族に対する理解を深め、看護を実践できる基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神に障害のある対象および家族を理解できる。 2. 精神に障害のある対象との人間関係の形成過程を通して、自己理解を深める。 3. 精神に障害のある対象の、日常生活の自立のための援助の方法を学ぶ。 4. 精神に障害のある対象に現れている精神症状を理解し、治療過程における看護の役割を学ぶ。 5. 精神に障害のある対象の、治療的環境を理解できる。 6. 社会資源について理解し、精神科医療チームの役割を学ぶ。 7. 社会復帰施設の特徴や機能を理解する。 8. 精神に障害のある対象の、地域での生活を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	病院実習 (76時間) 6～7月	実習施設：宮城県立精神医療センター グループごと各病棟で実習する 1.病院で全体オリエンテーションを受ける（看護部長ほか） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 1) 患者の把握 2) 家族状況の把握 3) 日常生活の自立のための援助を理解する 4) 精神障害のある患者への関わりを理解する 5) 治療的環境を理解する 6) 受け持ち患者のアセスメント・問題点の明確化・実施・評価 4.プロセスレコードによる自己の振り返りを行う。 5.患者が利用できる社会資源について理解する 6.チームでの関わりと、継続看護を理解する 8.カンファレンスを行い、学びを深める 9.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員）			
	施設実習 (14時間) 5～11月	実習施設：みんなの輪（わ・は・わ）各事業所、名取市友愛作業所 グループごと実習する 1.施設のオリエンテーションを受ける（施設指導者） 2.施設の日課・行事に従って、利用者と共にプログラムに参加する 3.利用者の地域での生活を理解する 4.グループで実習の学びを発表する（実習指導者） 実習をふり返り、精神看護について考える。			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	精神看護学実習評価表No1（90点）、No2（10点）の合計点で評価する。60点以上を合格とする。（実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等）				

5. シラバス

(5) 統合分野

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	在宅看護概論				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	なし		
目的/概要	在宅看護の対象および在宅看護の場を理解し、看護の役割を学ぶ。				
到達目標	1.在宅看護の目的、対象、システムを理解できる。 2.在宅看護の歴史と法制度、動向を理解できる。 3.在宅ケアを支える制度や社会資源を説明できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	在宅看護の基盤			
	2	在宅看護の歴史と動向			
	3	在宅看護の対象 (療養者)			
	4	在宅看護の対象 (家族)			
	5	在宅看護システムと現状 -訪問看護システム-			
	6	在宅看護システムと現状 -社会資源-			
	7	在宅看護システムと現状 -継続ケアシステム-			
	8	筆記試験			
使用教材	[テキスト] ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 厚生労働統計会：国民衛生の動向 [資料・DVD] いのちと生活を看護する訪問看護サービス, 公益財団法人 日本訪問看護財団				
履修上の注意	欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験 (80点) + 授業態度・課題の内容と提出状況 (20点) = 計100点満点 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	在宅医療論				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	在宅療養支援診療所医師A	実務経験	病院勤務経験有		
	在宅療養支援診療所医師B		病院勤務経験有		
	医療ソーシャルワーカー*		病院勤務経験有		
	保健師		病院勤務経験有		
目的/概要	在宅医療の考え方、諸問題を理解する。				
到達目標	1.在宅における医療のしくみを理解できる。 2.在宅看護における関係職種と社会資源が理解できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	0	在宅医療①			
	2	B	在宅医療②		
	3	B	在宅医療③		
	4	*	医療ソーシャルワーカーの業務について		
	5	*	地域医療連携センターの業務・役割		
	6	保	退院支援のプロセス		
	7	保	退院支援の演習		
	8		筆記試験 (1時間)		
使用教材	[テキスト] ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 厚生労働統計会：国民衛生の動向				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験 (4名合同) で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	在宅看護の方法 I				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	保健所勤務経験有		
	理学療法士*		病院勤務経験有		
目的/概要	在宅看護が展開できるための基礎知識、技術を習得する。				
到達目標	1.在宅看護の目的、特性を理解する。 2.家庭訪問の意義と訪問時のマナーを理解する。 3.在宅看護に必要な基礎知識、技術を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	家庭訪問の意義・目的とマナー			
	2	感染予防のための援助			
	3	清潔のアセスメントと援助 ①			
	4	清潔のアセスメントと援助 ②			
	5	清潔のアセスメントと援助 ③			
	6	食事(栄養)のアセスメントと援助・医療処置管理の支援 ①			
	7	〃 ②			
	8	排泄のアセスメントと援助・医療処置管理の支援 ①			
	9	〃 ②			
	10	呼吸のアセスメントと援助・医療処置管理の支援 ①			
	11	〃 ②			
	12	服薬支援			
	13	*	リハビリテーション一般		
	14	*	〃 運動器疾患の実際		
15	筆記試験				
使用教材	{テキスト}・ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ・ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 ・厚生労働統計会：国民衛生の動向 {DVD}・映像で感じ、考える、これからの在宅看護論 ・実践・訪問看護 ・目で見る訪問看護 ・人工呼吸器装着者の在宅ケア				
履修上の注意	筆記試験100点満点で行い60点以上が合格。 その他、レポート課題の提出状況、講義態度で評価。				
成績評価の方法	* 演習は基礎実習室使用。ユニホーム、患者用パジャマ、その他必要物品を準備のこと。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	在宅看護の方法Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	なし		
	訪問看護師		訪問看護経験有		
	主任介護支援専門員 (主任ケアマネ)		地域包括支援センター勤務経験有		
目的/概要	在宅看護が展開できるための基礎知識、技術を習得する。				
到達目標	1.地域包括ケアシステムについての概要と看護職の役割を説明できる。 2.在宅における看護過程について理解する。 3.さまざまな疾病や障害に特徴的な看護の展開方法を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	地域療養を支える制度			
	2	在宅看護におけるケースマネジメント/ケアマネジメント			
	3 ケアマネ	地域包括ケアシステムによる多職種・多機関連携			
	4	安全と健康危機管理			
	5・6・7	フィールドワーク			
	8 訪看	訪問看護の実際			
	9	訪問看護サービスの展開			
	10	対象に応じた在宅看護 [事例] (演習)			
	11	対象に応じた在宅看護 [事例] (演習)			
	12	対象に応じた在宅看護 [事例] (演習)			
	13 訪看	対象に応じた在宅看護 [事例] (発表)			
	14 訪看	対象に応じた在宅看護 [事例] (発表)			
	15	筆記試験・まとめ			
使用教材	1.ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア 2.ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 3.厚生労働統計会 国民衛生の動向				
履修上の注意	欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験 (80点) + 授業態度・課題の内容と提出状況 (20点) = 計100点満点 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護マネジメント				
履修年次	3年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	副校長	実務経験	病院勤務経験有 (病院看護部長)		
目的/概要	看護マネジメントの基礎的考え方を学び、質の高い看護サービスが提供できるシステムと運用について学ぶ。				
到達目標	1.看護におけるマネージメントについて理解できる。 2.看護を取り巻く制度・政策について理解できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護とマネジメント、看護ケアのマネジメント			
	2	マネジメントに必要な知識と技術			
	3	看護サービスのマネジメント 組織として看護マネジメントするとは			
	4	看護サービスのマネジメント 看護におけるヒト・モノ・カネ・情報のマネジメント			
	5	看護を取り巻く諸制度 看護の定義・看護職とは			
	6	看護を取り巻く諸制度 医療制度			
	7	看護管理の展望・看護の国際化			
	8	筆記試験 (1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 統合 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院 看護管理学 南江堂 看護倫理 南江堂 看護の将来ビジョン 日本看護協会				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	医療安全 I				
履修年次	3年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・3時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	さまざまな健康上のニーズをもつあらゆる年齢層の対象への基本的な看護の考え方や知識、技術を統合して応用するプロセスやその実際を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全を学ぶことの重要性を理解できる。 2. 看護職の法的規定について理解できる。 3. 医療安全への取り組みと医療の質の評価について理解できる。 4. 事故発生のメカニズムを説明できる。 5. 看護における医療事故と安全対策について理解できる。 6. 医療事故発生後の対応について説明できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	医療安全の意味と重要性 看護医療事故の種類と構造 看護職の法的規定と医療安全			
	2	ヒューマンエラーのメカニズム メタ認知と自己モニタリング 危険因子と予防対策危険予知トレーニング (KYT) 1) 危険予知4ラウンド法			
	3	危険因子と予防対策危険予知トレーニング (KYT) 2) 危険予知トレーニングの実際			
	4	看護・医療事故の分析方法 1) SHELLモデル 2) 4M・4Eモデル 3) RCA分析			
	5	インシデント・アクシデント報告の分析			
	6	事故防止 1) 診療の補助①			
	7	事故防止 1) 診療の補助② 2) 療養上の世話			
	8	筆記試験			
使用教材	テキスト：ナーシンググラフィカ 看護の統合と実践② 医療安全 メディカ出版				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験、提出課題の内容をもとに評価する。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。筆記試験 (80%)、課題・授業態度 (20%)、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	医療安全Ⅱ				
履修年次	3年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	卒業時に必要な基礎看護技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の症状・生体機能をアセスメントし、患者の病態・機能に合わせた適切な援助方法が選択・評価できる。 2. 安全で確実な基礎看護技術が実施できる。 3. 基礎看護技術について十分な知識を身につける。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 医療安全Ⅱの授業内容 2. 試験までの自己学習内容と取り組み方			
	2	事例演習 グループワーク 1. 症状・生体機能のアセスメント 2. 症状に合わせた援助の計画と評価			
	3	事例演習 個人レポートの作成・まとめ *レポート提出期限 厳守			
	4	技術練習説明・準備			
	5	筆記試験 基礎看護技術の知識確認(100問) (1時間)			
	6	技術練習			
	7	実技試験①			
	8	実技試験②			
使用教材	<p>○基礎看護技術に関する教科書・参考書</p> <p>○事例演習に必要な疾患・看護系の教科書、参考書、電子手帳、筆記用具等を持参する。</p>				
履修上の注意	<p>○技術練習に必要な物品は教材費で購入する。</p> <p>○技術練習は、ユニフォーム着用で実施する。</p>				
成績評価の方法	筆記試験(100点)、実技試験(100点)、レポート(実技試験事前レポート20点、事例演習レポート80点)を合計し、180点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	災害看護				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	災害支援経験有 (災害支援ナース)		
目的/概要	災害時の看護の役割について理解し、災害看護に必要な技術を習得する				
到達目標	災害サイクルのそれぞれの時期における特徴と活動すべき内容を基に、災害看護に必要な知識・技術を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	災害看護の基礎知識 ・災害医療の特徴 ・災害看護の定義と役割			
	2	急性期の看護① ・被災病院における初動体制と傷病者の受入れ			
	3	急性期の看護② ・トリアージ (演習)			
	4	急性期の看護③ ・災害時特有の病態(外傷)とケア ・応急処置、搬送 (演習)			
	5	急性期・亜急性期の看護 ・避難所の設営と対応			
	6	慢性期・復興期・静穏期の看護 ・仮設住宅における生活支援 ・災害準備教育			
	7	国際看護 ・国際救援 ・国際協力のしくみ			
	8	筆記試験			
使用教材	浦田喜久子,小原真理子編:系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学, 医学書院, 2021				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・技術演習では、動きやすい服装とする。 ・講義内容によっては、精神的苦痛を伴う場合も考えられるため、その場合は直ちに申し出ること。 				
成績評価の方法	筆記試験・グループワーク・演習・授業態度を総合的に評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護学実習				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	経験年数	なし		
目的/概要	地域で生活しながら療養する人々と家族を理解し、在宅での看護の基礎を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の対象を理解する。 2. 在宅看護の機能と役割を理解する。 3. 対象の生活環境に応じた看護の実際を知る。 4. 地域におけるケアサポートシステムの実際を知る。 				
授業計画	時期	授業内容			
	訪問看護看護 ステーション (28時間) (5～11月)	実習施設：宮城県看護協会訪問看護ステーション (青葉、大崎、こごた、柴田・角田) <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーションを受け（所長）概要を理解する。 2.訪問看護に同行し、療養者の状況を理解する。 3.訪問事例の1事例の看護計画を立案する 1) アセスメント 2) 看護問題を明確化・看護計画の立案 4.訪問看護の実際を見学し、一部実施する。 5.社会資源の活用、関係する機関・職種との連携を理解する 			
	入退院支援・ 外来実習 (30時間) (2～11月)	実習施設：東北労災病院 (入退院支援センター・外来化学療法センター・透析室) <ol style="list-style-type: none"> 1.入退院支援のプロセスを理解する。 2.外来で治療を受けている対象を理解する。 3.療養生活を支える外来看護師の役割を理解する。 4.療養生活を支えるための多職種との連携を理解する。 			
	労災特別介護 施設実習 (15時間)	実習施設：労災特別介護施設（ケアプラザ富谷）			
	介護老人福祉 施設実習 (17時間) (5～11月)	実習施設：介護老人福祉施設 (パルシア・暁星園・シオンの園・ハートケア鶴ヶ谷) <ol style="list-style-type: none"> 1.施設のオリエンテーションを受け、施設の概要を理解する。 2.入居者の生活、日常生活の援助方法を理解する。 3.多職種との連携を理解する。 4.入居者の障害や健康状態に即した介護サービス、社会資源を理解する。 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	訪問看護ステーション実習：在宅看護論実習評価表 A（35点） 入退院支援・外来実習：在宅看護論実習評価表 B（35点） 労災特別介護施設実習：在宅看護論実習評価表 C（15点） 介護老人福祉施設実習：在宅看護論実習評価表 D（15点） それぞれの評価表を使用し、合計点を評価とする。60点以上を合格とする。 （実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等）				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2021年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護の統合と実践の実習				
履修年次	3年次	履修学期	全期	授業形態	実習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員A	経験年数	病院勤務経験有		
	専任教員B		病院勤務経験有		
	専任教員C		病院勤務経験有		
	専任教員D		病院勤務経験有		
	専任教員E		病院勤務経験有		
	専任教員F		病院勤務経験有		
	専任教員G		病院勤務経験有		
目的/概要	既習の知識・技術・態度を統合して、看護チームの一員としての看護実践能力を身につける。				
到達目標	<p>1.病院における看護部長と病棟師長の役割を理解し、看護管理の実際を学ぶ。</p> <p>2.看護チームの日々のリーダー（コーディネーター）とメンバーの役割を理解し、他部門との連携およびチーム一員としての役割を学ぶ。</p> <p>3.複数患者を受け持ち、優先度の決定と時間調整の必要性を理解し実践できる。</p> <p>4.卒業までに習得すべき看護技術を実施する。</p>				
授業計画	時期	授業内容			
	10月 (4時間)	<p>1.複数患者の行動計画の立案（学内演習）</p> <p>1) グループワーク</p> <p>2) 発表</p> <p>2.看護方式（PNS）についての説明を受ける</p> <p>実習施設：東北労災病院 各病棟</p>			
	12月 (86時間)	<p>1.病院における看護管理の実際を知る</p> <p>1) 病院組織の看護管理（看護部長）についてオリエンテーションを受け、見学実習を行う。</p> <p>2) 病棟の看護管理（看護師長）についてオリエンテーションを受け、見学実習を行う。</p> <p>3.リーダーと行動を共にし、チームリーダーの役割を理解する。</p> <p>4.メンバーと行動を共にし、チームメンバーの役割を理解する。</p> <p>1) 各勤務帯の業務概要日勤業務の経過を理解する</p> <p>2) 援助の実施</p> <p>3) リーダーへの報告・メンバー間の協力</p> <p>5.複数患者を受け持ち、患者に必要な援助計画を立案・実施する</p> <p>6.卒業までに修得すべき看護技術を習得する。</p> <p>7.実習での学びを話し合い、自己の課題を明確にする（学内）。グループごとに発表し、学びを共有する。</p>			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	看護の統合と実践の実習の評価表を使用し評価する (実習態度・実習内容・グループ内での発言・実習記録等)				